

令和3年度 社会福祉法人なでしこ会事業報告書

《 基本理念 》

明るく誰もが温もりを感じ、夢のある生活の実現

社会福祉法人なでしこ会は、地域住民の自主的な福祉活動、保健活動等のための場を提供し、誰もが日常的に相互に支えあい、住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられる地域社会の実現に寄与して参りました。

《 経営基本方針 》

3S(スリーエス)

SMILE (スマイル)	笑顔にあふれたアットホームなサービスを提供します。
SPACE (スペース)	快適な環境作りに努めます。
SERVICE (サービス)	利用者の立場になって生活を支援します。

《 経営施設・実施事業 》

・法人本部

横浜市市営住宅等生活援助員派遣事業

・特別養護老人ホーム夢の里(介護保険指定事業所番号 1470600121)

介護老人福祉施設

短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

横浜市高齢者食事サービス事業

・横浜市岩崎地域ケアプラザ(介護保険指定事業所番号 1470600063・1490060019)

通所介護事業・介護予防通所介護

居宅介護支援事業

介護予防支援事業

地域包括支援事業

地域活動・交流事業

生活支援体制整備事業

・横浜市常盤台地域ケアプラザ(介護保険指定事業所番号 1470601400・1490600085・1490600093)

通所介護事業・介護予防通所介護

認知症対応型通所介護

居宅介護支援事業

介護予防支援

地域包括支援事業

地域活動・交流事業

生活支援体制整備事業

以上の基本理念、経営基本方針をもって、下記のことを推進してまいりました。

記

事業項目

1) 利用者へのサービス提供

自立と主体性を尊重し、利用者本位のサービスを目指しました。

集団生活という生活環境の中で、利用者一人ひとりの生活づくりに努めました。

役職員をはじめ、家族、親近者等が協同のパートナーとして利用者の援助に取り組みました。

利用者の心身両面の維持向上のため、必要な援助を絶えず追及していきました。

安全に継続的にサービス提供がなされるよう万が一に備え、日常的な防災予防を図るとともに、定期的な訓練等の実施により、防災対策に万全を期して参りました。

社会福祉施設の一つの重要な役割として、人材育成の観点から実習生や中学校の総合学習の一環としての介護体験、高校におけるインターシップ等の受け入れを実施して参りました。また見学者やボランティアにつきましても、引き続き積極的に受け入れて参りました。

2) 地域福祉の推進

子供から高齢者まで、地域福祉の多様なニーズに応えられるよう総合福祉施設の機能を充実させ、子育て支援や在宅高齢者福祉の推進及び福祉教育等、地域福祉の拠点としての役割に努めました。

隣接法人である学校法人聖ヶ丘学園には、付属育和幼稚園及びひかりの風保育園が開園されております。新型コロナウイルス予防により園児や学生との日常的な交流はありませんが、今後も法人が経営、運営する施設及び事業を積極的に活用して頂けるようにしてまいります。

施設、各種学校、地元自治会、民生委員、児童委員協議会、地区社会福祉協議会、老人クラブ及び各種学校等との交流を深めることに努めました。

災害非常時には災害弱者などに対する地域の緊急避難場所としての役割を果たせるよう、体制及び非常災害用備蓄を整えて参りました。

3) 法令・規程規則等の遵守

役職員は社会福祉法人として求められている「社会的責任」「社会貢献」を自覚し、専門職として職務倫理を身につけ、法律及び関係法令等並びに法人定款、規程を理解しつつ遵守し、社会規範を尊重して日常の業務を適正に遂行して参りました。

中長期計画

施設系サービスや在宅系サービスが各施設の近くに多く設立されている現状において、法人経営を安定的また継続的に行うため、体制の整備及び制度設計を中期計画(平成26年4月からの5年間)に位置づけ、実施いたしました。令和元年度から5年間の中期計画についても、ビジョン・内容等を大きく変えることなく、前中期計画で実現できなかったことを重点に実施して参りました。

長期計画(平成26年4月からの10年間・財務状況の安定化及び施設の修繕計画長期計画)についても、中間期として修繕・設備入替計画の見直し等を行い、残りの5年間の目標と計画を設定いたしました。

夢の里修繕計画

1) 設備更新

	設置年月	概算見積額	期間	備考
ボイラー	開所時	8,880,000 円	中	
エレベーター	"	25,000,000 円	長	
自動ドア	"	850,000 円	長	
ナースコール	"	5,600,000 円	長	
冷暖房設備(旧)	"	11,000,000 円	中	H29~30年度 実施済
クーリングタワー撤去	"	3,850,000 円	長	
業務用洗濯脱水機	平成7年9月	2,200,000 円	長	R03年8月入替
業務用乾燥機	平成6年7月	2,200,000 円	長	R02年7月入替
機械浴槽	開所時	8,800,000 円	短	H28年度 実施済
自家発電機(非常用)	"	7,480,000 円	長	
合計		75,860,000 円		

2) リフォーム

	設置年月	概算見積額	期間	備考
2Fリフォーム	開所時	30,855,000 円	中	
内) クロス張替		6,435,000 円		
内) Pタイル張替		3,300,000 円		
内) 天井張替		2,970,000 円		
内) ベッド入替		18,150,000 円		
LED改修工事	開所時	8,000,000 円	短	令和元年度 実施済
合計		38,855,000 円		

3) 外観

	設置年月	概算見積額	期間	備考
外壁躯体・タイル	開所時	12,412,000 円	中	横浜市補助事業対象予定 (防水は除く) 仮設・監督費・諸経費 込み
シーリング工事	"	7,900,000 円		
鉄部・外壁塗装	"	9,000,000 円		
防水	H20年6月	15,188,000 円		
合計		44,500,000 円		

修繕計画 合計 159,215,000円

内) 実施済 実額 22,593,280円

修繕計画残額 127,015,000円

役職員関係報告

役職員の資質向上のため、自己啓発を促して行く事はもとより、各種研究会、研修会へ積極的に参加していくこととしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、法人内外の研修会の中止や研修会参加の自粛をしましてまいりました。新しい研修体制として、オンライン研修への参加申込を推奨していくとともに、感染予防を念頭に置きながら、研修体制の構築を下半期も図って参ります。

1) 理事・監事

定数	理事6名以上7名以下	監事2名
任期	令和5年6月	定時評議員会まで
理事長	石井 和男	
常務理事	佐瀬 一裕	
理事	関 寛 瀬戸 謙一 古城 高之 町田 貴宏	
監事	飯塚 忠孝 高澤 襄	
開催実績	5月21日 監事監査(令和2年度事業報告、決算報告)	
	26日 事業報告、決算報告、評議員候補者の推薦提案	
	6月22日 理事長互選	
	8月25日 第1四半期事業及び決算報告(書面表決)	
	11月10日 中止	
	3月23日 令和4年度事業計画(案)、当初予算(案)	

2) 評議員

定数	7名以上8名以下		
任期	令和6年6月 定時評議員会まで		
評議員	浅野 高嶺 石川 源七 中島 良行 橋本 文伸 廣田 智可子 原 正子 渡邊 慶信		
開催実績	6月22日(定時) 事業報告、決算報告、理事・監事改選 等		
	11月30日 中止		

3) 評議員選任・解任委員会

定数	3名		
任期	令和4年6月 定時委員会まで		
委員長	山口 和秀 : 委員 小川 浩之 高澤 襄(監事兼務)		
開催実績	5月12日 評議員の選任について		

4) 法人本部会議の開催について

概ね月2回、通算21回本部会議を開催し、主に法人、各施設及びサービスにおける運営や実績等の話し合いを行いました。

出席者	石井理事長、関理事、佐瀬事務局長、古城所長、瀬戸施設長、町田所長		
令和2年	4月14日	主な議題	令和3年度組織体制について
	28日	"	各施設事業報告・会計報告
	5月14日	"	令和2年度事業報告・決算報告について

6月10日	〃	人事考課制度について
23日	〃	各施設事業報告・会計報告
7月14日	〃	経営指標自己チェックシートについて 人事考課について
7月22日	〃	各施設事業報告・会計報告
8月11日	〃	人事考課制度について
25日	〃	各施設事業報告・会計報告
9月8日	〃	人事考課制度について
22日	〃	各施設事業報告・会計報告
10月13日	〃	人事考課集計について、上半期事業報告について
27日	〃	各施設事業報告・会計報告
11月10日	〃	令和3年度上半期事業報告・決算報告について
30日	〃	各施設事業報告・会計報告
12月8日	〃	規程改訂について
22日	〃	各施設事業報告・会計報告
令和4年 1月12日	〃	ストレスチェック結果について
26日	〃	各施設事業報告・会計報告
2月24日	〃	各施設事業報告・会計報告
3月9日	〃	理事会開催について、定期昇給について

令和3年度財務報告

1) 目標

法人全体の収支状況の改善

2) 改修・修繕報告(100万円以上)

横浜市岩崎地域ケアプラザ

浴室天井改修工事：1,760,000円(令和4年3月27日完了)

3) 固定資産物品購入報告

特別養護老人ホーム夢の里

業務用衣服乾燥機：1,210,000円(令和3年11月1日入替)

4) リース物品購入報告

特別養護老人ホーム夢の里

業務用洗濯機：2,057,000円(令和3年8月2日入替)

介護事業所支援システム・PCハード等入替：8,299,973円

令和3年8月発注済。半導体不足のため、納期未定。

5) 建設時借入金償還状況

建 物	横浜市常盤台地域ケアプラザ				合 計
	借入先	独) 福祉医療機構 借入年月日 (平成21年12月18日)		社福) 横浜市社会福祉協議会 借入年月日 (平成21年9月4日)	
内 訳	元 金	利 子	元 金	利 子	
貸付金額	20,000 千円	3,320 千円	40,000 千円	-----	63,320 千円
償還済額	11,000 千円	2,600 千円	22,000 千円	-----	35,600 千円
当期予定額	1,000 千円	144 千円	2,000 千円	-----	3,144 千円
残 額	8,000 千円	576 千円	16,000 千円	-----	24,576 千円
令和3年度 上半期 返済額	1,000 千円 内) 補助額 750 千円 内) 法人負担額 250 千円	144 千円 内) 補助額 144 千円 内) 法人負担額 0 千円	2,000 千円 内) 補助額 1,500 千円 内) 法人負担額 500 千円	-----	3,144 千円 内) 補助額 2,394 千円 内) 法人負担額 750 千円

法人事務局

1) 重点項目

ホームページ更新

令和3年10月1日 更新

人事考課制度の実施

令和3年1月～6月にて試験運用実施。7月～8月にかけて本格運用の準備及び各拠点にて考課者研修実施。令和3年10月(令和4年夏季賞与分)から人事考課制度の本格運用実施。

2) 実施・担当事業

横浜市生活援助員派遣事業

高齢者自らが望む生活を実現するために、生活援助員の役割である 1. 居住形態に配慮しながら、居住者のニーズに対し適切な機関につなげるコーディネート 2. 関係機関・専門職、地域コミュニティとの連携。3. 日常的に行う安否の確認・緊急対応 を行いながら、各住宅につき週2回づつ派遣し、居住者の状態像や住宅形態に応じて居住継続のサポートを行いました。

また、新型コロナウイルスの対応について、令和2年度に引き続き援助員の体調に充分気をつけ、保健衛生物品(マスク・アルコール消毒液)が不足しないよう各相談室へ配布を行いつつ、事業を継続して参りました。ただし、安否確認時の自宅への訪問については、極力インターホン越しに声かけを行うなど、緊急時以外において援助員と入居者様の接触を控えるよう配慮し事業を行いました。令和3年度は特にワクチン接種にかかる相談が数多く寄せられたため、横浜市からのワクチン情報を法人にて印刷し各住戸へその都度配布し、また、電話及びインターネットを使った予約申込みのサポートを行いました。

住宅名	3月末世帯数	要介護状態	新入居	安否確認 延べ件数	相談 延べ件数
			退 去		
岩崎町住宅 対象戸数 27戸	二世帯 1戸 単身世帯 25戸	要支援 2名 要介護 4名		1,165件	49件
ミカーサ横浜 対象戸数 21戸	二世帯 2戸 単身世帯 19戸	要支援 3名 要介護 3名	5名	975件	89件
シャイニング 横浜 対象戸数 36戸	二世帯 1戸 単身世帯 32戸	要支援 2名 要介護 10名	2名 (永眠・入所)	1,659件	115件
ライプリー さくら 対象戸数 18個	二世帯 1戸 単身世帯 12戸	要支援 1名 要介護 3名	1名(入所)	657件	93件
桜ヶ丘 グリーンハイツ 対象戸数 30戸	二世帯 6戸 単身世帯 22戸	要支援 4名 要介護 3名	1名(入所)	1,388件	145件

以 上

令和3年度 特別養護老人ホーム夢の里 事業報告書

・実施事業

- ・介護老人福祉施設 定員 57名 (平成31年3月1日より50名より変更)
- ・短期入所生活介護事業 定員 8名 (平成31年3月1日より15名より変更)
- ・高齢者食事サービス事業 (横浜市委託事業)

・令和3年度事業報告

1. 総括

(1) 特養・短期入所の稼働率実績

今年度の実績は、95.4%・62.0名(特養96.1%・54.8名 短期入所90.3%・7.2名)となり、目標稼働率98.5%・64名(特養99%・56.5名 短期入所93.3%・7.5名)を達成することが出来ませんでした。しかしながら単月実績では9月・10月に目標の64名を達成、特養では10月、短期入所では6・7・8・9・10・1月に目標を達成出来たことにより前年度の実績より(59.8名)2.2名向上する事が出来ました。

特養の上半期は、退所による空床期間の短縮を目標に男女共に2～3名の調査済み待機者確保し2～3週間後には入所されている状況となり、また入院者が少なかった事もあり、10月単月ですが目標達成する事が出来ました。下半期は、退所者が増加し入所のため、調査済み待機者の不足と、調査の遅れのため空床期間が拡大し稼働率が低下いたしました。年間を通じて入院者が減少したことにより稼働実績の改善につながりました。今後も利用者様の適切な健康管理を行うとともに、退所者の増加に伴う空床対策として、適切な状況予測を行い新規入所希望者への調査と短期入所者の受入等を行なってまいります。

短期入所に関しましては、昨年度新型コロナウイルス感染予防対策強化のため1床を空床としておりましたが、今年度は空床とせずご利用者様の受入を行いました。

年度当初は、新型コロナウイルスの影響により新規のご相談・申し込みが減少し、定期的にご利用される方で運営する状況でありましたが、区及びケアプラザからの緊急ケースの受入を行った事、数件では有りますが毎月空床情報を見て連絡がありご利用につながった方もおり稼働率の向上を図ることが出来ました。今後も区・介護支援専門員等から相談があった場合には受入が可能範囲で対応してまいります。

第4四半期に関しましては、長期間ご利用いただきました3名の方が2月・3月に本入所となり、2月に1名の方をお看取りさせていただいた事もあり稼働実績が低下いたしました。

この様な状況にも対応できるよう、少しでも夢の里の短期入所を知っていただく為、保土ヶ谷区及び近隣区の居宅介護支援事業所へ毎月空床情報の提供と御利用案内を継続的に実施してまいります。

(2) 新型コロナウイルス感染症等に関する対応

新型コロナウイルス感染症の感染が広がる中、「高齢者施設における感染症対策マニュアル改訂版」に基づき感染予防に努めました。

令和2年2月より実施中の、面会制限・立入制限の実施、全職員出勤時・業者来所時の体温確認、手指消毒、マスクの着用、健康チェックを行い、新型コロナウイルス持込防止対策を継続実

施いたしました。

ご利用者様への対応として、熱発者は施設協力医の判断により PCR 検査を実施・退院者はカーテン隔離対応を行い他者への感染予防及び新型コロナウイルスを施設へ持ち込まないよう対応をいたしました。

新型コロナワクチン接種につきましては、接種可能なご利用者・職員に対して計画的に実施し3回目の接種完了いたしました。

感染症対策で使用する物品（マスク・グローブ・消毒用アルコール・ガウン）通常より在庫を増やし感染症対策が行なえるよう対応しています。

（3）新規加算の取得

科学的介護推進体制加算（LIFE）の算定について次年度導入できるよう検討いたしました。

（4）介護職員の人材確保と資質向上

今年度の新卒者採用はありませんでしたが、介護職員4名(常勤3名非常勤1名)を中途採用いたしました。また、退職者は介護職員2名(常勤1名非常勤1名)おり今後も職員不足を解消する為に継続的な求人(学校求人・ハローワーク・新聞折込・電子媒体など)・紹介・派遣会社の活用を行ってまいります。

職員の資質向上を目的にした研修につきましては、昨年度同様に新型コロナウイルスの流行による感染予防対策として外部研修への参加を見合わせました。内部研修についても多数職員が参加となるため中止いたしました。研修による自己啓発も必要となるためウェーブ研修を実施いたしました。

人事考課制度導入計画に基づき上半期より試験運用を実施いたしました。下半期は今後の運用に向けての準備として考課者研修を行いました。

2. 行事等活動報告

（1）主な行事計画

安全で楽しく、またご家族様にも一緒に楽しんでいただける行事を計画いたしましたが、本年度は新型コロナウイルス感染予防のため、誕生会・敬老会以外の行事は中止と致しました。その為、季節ごとの行事を少しでも感じて頂けるよう、行事食を提供させていただきました。

- 4月 誕生会（21日）
- 5月 八十八夜（1日）・菖蒲湯（345日）端午の節句（5日）・誕生会（19日）
- 6月 誕生会（16日）
- 7月 七夕（7日）・誕生会（21日）
- 8月 誕生会（18日）
- 9月 敬老祝賀会（20日）・誕生会（15日）
- 10月 運動会（24日）中止・誕生会（20日）
- 11月 誕生会（17日）
- 12月 誕生会&餅つき（15日）・クリスマス会（24日）・ゆず湯（19～21日）
- 1月 新年祝賀会（1日）・書初め（2日）・七草粥（7日）・鏡開き、お汁粉（11日）誕生会（9日）
- 2月 節分（3日）・誕生会（16日）

3月 常盤台北部自治会合同防災訓練中止(28日)中止・ひな祭り(3日)・
誕生会(16日)

(2) クラブ活動

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため活動を休止いたしました。

(3) 地域交流及びボランティア

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため、ボランティア活動は中止といたしました。

< 聖ヶ丘学園 >

今年度より聖ヶ丘教育福祉専門学校専攻科の廃止に伴い実習の受入は中止となりました。

< 育和幼稚園 >

11月予定の交流会は新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

< ひかりの風保育園 >

例年は、散歩の途中で窓越しに手を振り合うなどの交流を行ってまいりましたが、本年度は新型コロナウイルス感染予防のため園児の外出自粛もあり交流はありませんでした。

< 中学校体験学習 >

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。

< 大学生教員免許取得の為の実習受入 >

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため受入を中止といたしました。

< 横浜市新任職員福祉活動実習受入 >

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため横浜市より依頼の辞退がありました。

< ボランティアの受け入れ >

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため受入を中止といたしました。

< 夏休みボランティア体験(ちょいボラ) >

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため受入を中止といたしました。

< 介護相談員派遣事業受け入れ >

毎年、区役所より派遣された介護相談員2名により、入居されている方・ご家族様からサービスに関する疑問・不満等を聴取していただき、施設との橋渡しを行って頂いておりますが、本年度は新型コロナウイルス感染予防のため活動を休止しております。

介護相談員連絡会(zoom会議)に2回参加し近況報告をいたしました。

< 家族会 >

新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

役員会を3回開催し施設の近況報告を行いました。

<部屋貸し>

新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

3. 医務

(1) 健康管理

ご利用者様の個々のニーズに的確に関わる看護を目指し、嘱託医と協力し、介護度が改善・安定できるような看護を目指すため、以下の取り組みを行いました。

- 1 看護と介護の連携を密に協力し、24時間態勢にて生活の援助に努めました。
- 2 体調の変化に常に重点をおき、急変時のバイタル測定、主治医への報告、処方薬の服薬介助などの確な対応をいたしました。
- 3 必要時の受診の対応、援助をいたしました。
- 4 6月の老人健診は新型コロナウイルス感染症予防対策を行い実施いたしました。
- 5 体調の変化の目安とするため、毎月体重測定と毎週血圧の測定を行いました。
- 6 10月から11月にご利用者様及び職員へインフルエンザの予防接種を行いました。

(2) 感染症・食中毒防止

1年を通じて、感染症や食中毒の予防及び万一の発生時には蔓延の防止に取り組みました。

今年度は、12月にインフルエンザの罹患者(本入所ご利用者1名)が発生いたしましたが、同室者・接触者・発熱者計5名抗体検査を行い陰性を確認すると共に罹患防止に努めました。その結果他のご利用者様、職員への罹患はありませんでした。

新型コロナウイルス感染症に関しましては、ご利用者様への感染はありませんでした。職員につきましては、2件2名の感染がありましたが、施設内での濃厚接触はなく自宅療養対応といたしました。又、職員の家族が感染及び濃厚接触者と認定され自宅療養対応となった職員は7名発生いたしました。ご利用者・職員の発熱時には施設協力医に報告後PCR検査を実施し、施設内へのまん延予防を致しました。

1 インフルエンザ対策

ご利用者様及び職員に対して嘱託医と協力し、10月にご利用者様・職員に予防接種を実施いたしました。また、11月より手洗い、うがい等の啓蒙、施設入り口には来所者用のマスクとアルコール消毒液を常備し予防策の援助を行いました。また、職員の出勤時に体温測定を実施し体調チェック表への記入をする事により自己の体調管理及び啓蒙を行いました。

10月～3月の期間は、全居室での加湿器の使用と、カウンター前の加湿器及びインフルエンザ感染者専用部屋の加湿器には塩素系の消毒液を入れ対応いたしました。

インフルエンザまん延予防対策として、施設内でインフルエンザ罹患者が確認された場合は、ご利用者様及び職員に対して予防与薬を7日間服用することと継続いたしました。

職員の同居家族で罹患者が発生した場合も、施設内への蔓延予防対策として予防予薬を実施いたしました。

2 ノロウィルス対策

看護、介護、栄養士及び調理師がお互いに協力し、ノロウィルスの発生が多い10月～3月まで、使用した食器を塩素消毒する等の予防対策を実施しました。また、万一嘔吐や下痢、発熱などの症状のあるご利用者様がでた場合のために、汚物処理の方法や施設内の消毒方法などの研修を全職員対象に実施し、まん延予防対策の徹底も図りました。

3 新型コロナウイルス対策

令和2年2月より新型コロナウイルス感染予防対策として、ご家族様との面会制限の実施、職員の手指消毒・マスクの着用・出勤時の検温・健康チェックの継続実施、納品業者に対しては、施設入館時の検温・手指消毒・マスクの着用を実施いたしました。また、職員へは、掲示板へ資料の掲示、回覧、ミーティング等を活用し日々予防への啓蒙を実施いたしました。

(3) 褥瘡対策

褥瘡はご利用者様にとって身体的、精神的にとっても負担の大きいものです。褥瘡ゼロを目指し嘱託医、看護、介護、栄養士及び調理師がお互いに協力し褥瘡予防を積極的に取り組みました。また、数件ですが初期状態の発赤・表皮剥離の発症がありましたが、主治医との連携のもと、体位交換皮膚の清潔保持や栄養管理などの的確な処置により早期治癒いたしました。全利用者様を3グループに分け3月に一回調査を行い多職種で状況確認を行いました。

(4) ADL向上に向けて

嚥下体操、口腔ケア、リハビリなど個人にあったケアをとり入れて継続的に実施いたしました。

昼食前またはおやつの前後に、身体機能の維持を目的に看護師を中心に実施いたしました。

(5) 感染症・食中毒施設内研修実績

令和3年10月15日 ノロ対応蔓延予防研修 ・ 実技研修(新任職員研修対応)

4. 厨房

(1) 食事管理

ご利用者様の個々の状態に合わせた食事の形態や適正なカロリー、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、美味しく安全な食事を提供いたしました。

嚥下困難な方へのトロミ剤の使用方法及び適正な濃度について統一濃度で提供できる体制を整え職員への周知を行い、ご利用者様に合わせたトロミ形態で提供を行いました。

(2) 行事食

その月の行事や季節の催し物に因んだ行事食や月1回の誕生会の昼食を行事食とし美味しくまた、見た目にも楽しめる食事を提供いたしました。

3. 横浜市高齢者等食事サービス事業

食事サービス事業を通して、居宅生活者の安全と安心を見守り、併せて、食生活の改善を促進し健康な生活をサポートいたしました。令和3年度実績は前年度と比べ220食増加し、1日平均で13.5

個（前年度12.9個 1日平均+0.6個）となりました。令和3年度の新規利用者の獲得は16名に対し、中止者も13名となり、そのうち半数近い6名は令和3年度に利用を開始したご利用者様でした。新規利用の傾向として、病院から退院 施設入所までの期間（スポット利用）での利用が多く、ご利用者様の獲得が配達個数の増になかなか結びつかない状況となっております。

食事サービス事業としましてはコロナ禍の元、在宅高齢者の食事確保及び安否確認については、とても重要な事と考えています。この状況下においてできる限りの工夫を行い、引き続きより多くのご利用者様にサービス提供できるよう、事業を実施してまいります。

令和3年度配達実施地域

保土ヶ谷区：常盤台、峰沢町、岡沢町、鎌谷町、宮田町、岩間町、西久保町（JR線以北のみ）、
神戸町、天王町、川辺町、和田町、釜台町、上星川町、峰岡町、星川町、桜ヶ丘
月見台、霞台、帷子町、岩崎町 明神台
神奈川区：羽沢南

6. 防災・防火

1 利用者・職員及び地元自治会の人命安全、被害防止のため防災計画・地元自治会との防災協定及び特定避難場所の協定に基づいた非常災害対策の適切な実施を今後も継続してまいります。

- ・非常災害時の緊急連絡網、関係機関への通報及び連携体制構築の確認。
- ・職員に対する防災計画及び連絡体制の周知。
- ・消防設備点検 依頼業者により年2回 4月・10月に実施いたしました。
自主点検は年2回 7月・1月に担当職員にて実施いたしました。
- ・新任（現任）職員対象に消防計画の説明及び消火設備・放水訓練を実施いたしました。
12月7日 参加者 新任職員 1名
3月18日 参加者 新任職員 4名
- ・避難訓練を年2回実施いたしました。
12月13日 昼間想定 通報・消火・避難誘導訓練・新任職員研修
3月28日 常盤台北部自治会合同防災訓練中止 夜間想定 夢の里のみで実施
- ・非常食の備蓄 900食（100名×3食×3日分）
夢の里利用者分として65名分の非常食3日分備蓄しています。
夢の里職員分として15名分の非常食3日分備蓄しています。
特定避難場所として20名分の非常食3日分備蓄しています。
- ・消防署 査察関係
消防・警防査察 令和3年10月20日（水）実施

2 火災対策として、以下の火災予防策・防火安全体制の再確認、指導の徹底をして参ります。

- ・喫煙等の火気管理の徹底。
- ・暖房機器や厨房機器等の火気使用設備・器具の管理。
- ・階段、通路などの避難経路及び防火戸、防火区画の管理。
- ・寝具・布張り家具（ソファ等）に防火性能及び着火防止性能を有する製品の使用。

令和3年度稼働実績

施設サービス稼働実績

単位：人 稼働率：%

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
特養	定員	1,710	1,767	1,710	1,767	1,767	1,710	1,767	1,710	1,767	1,767	1,596	1,767	
	利用人数	延べ	1,644	1,670	1,583	1,707	1,739	1,692	1,756	1,638	1,696	1,665	1,494	1,709
		空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1,644	1,670	1,583	1,707	1,739	1,692	1,756	1,638	1,696	1,665	1,494	1,709	
	稼働率 日平均	96.1 54.80	94.5 53.87	92.6 52.77	96.6 55.06	98.4 56.10	98.9 56.40	99.4 56.65	95.8 54.60	96.0 54.71	94.2 53.71	93.6 53.36	96.7 55.13	
短期	定員	240	248	240	248	248	248	248	248	248	248	224	248	
	利用人数	延べ	198	184	237	233	236	238	234	217	225	234	208	194
		予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	198	184	237	233	236	238	234	217	225	234	208	194	
稼働率 日平均	82.5 6.60	74.2 5.94	98.8 7.90	94.0 7.52	95.2 7.61	99.2 7.93	94.4 7.55	90.4 7.23	90.7 7.26	94.4 7.55	92.9 7.43	78.2 6.26		
利用総計	1,842	1,854	1,820	1,940	1,975	1,930	1,990	1,855	1,921	1,899	1,702	1,903		
総計稼働率 日平均	94.5 61.40	92.0 59.81	93.3 60.67	96.3 62.58	98.0 63.71	99.0 64.33	98.8 64.19	95.1 61.83	95.3 61.97	94.2 61.26	93.5 60.79	94.4 61.39		

	実績人数	満床人数		
令和3年度	稼働率	(全体) 22,631 ÷ 23,725名 =	95.4%	62.00名
		(特養) 19,993 ÷ 20,805名 =	96.1%	54.78名
		(短期) 2,638 ÷ 2,920名 =	90.3%	7.23名

参考 令和2年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特養 人数	1,583	1,650	1,536	1,624	1,618	1,603	1,695	1,667	1,735	1,689	1,495	1,698
稼働率	92.6	93.4	89.8	91.9	91.6	93.7	95.9	97.5	98.2	95.6	93.7	96.1
	52.77	53.23	51.20	52.39	52.19	53.43	54.68	55.57	55.97	54.48	53.39	54.77
短期 人数	238	208	185	189	189	180	180	139	150	206	179	204
稼働率	99.2	83.9	77.1	76.2	76.2	75.0	72.6	57.9	60.5	83.1	79.9	82.3
	7.93	6.71	6.17	6.10	6.10	6.00	5.81	4.63	4.84	6.65	6.39	6.58
利用者 総計	1,821	1,827	1,721	1,814	1,807	1,783	1,875	1,806	1,885	1,895	1,674	1,902
総計 稼働率	93.4	90.7	88.3	90.0	89.7	91.4	93.1	92.6	93.5	94.0	92.0	94.4
	60.70	58.94	57.37	58.52	58.29	59.43	60.48	60.20	60.81	61.13	59.79	61.35

令和2年度 稼働率 (全体) 92.1% 59.84名
(特養) 94.2% 53.68名 (短期) 77.0% 6.16名

入所状況 (令和3年度 月別集計)

単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	男	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	4
	女	1	1	2	2	1	0	1	0	2	0	2	2	14
合計		1	1	3	2	1	1	1	1	2	0	2	3	18

入所前状況

在宅からの入所 7名 老人保健施設入所者 8名
病院からの入所 1名 グループホーム・有料 2名

入所待機者状況

3月現在 113名 (男性 59名 女性 54名)

退所状況 (令和3年度 月別集計)

単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退所	男	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	4
	女	2	1	0	1	1	0	1	2	1	2	1	0	12
合計		2	2	0	1	1	1	1	3	2	2	1	0	16

医療機関への入院 2名 施設での看取り 14名

介護度状況 (令和4年3月31日 現在)

単位：人

		介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
介護度	男	0	0	3	8	5	16
	女	0	0	3	17	21	41
合計		0	0	6	25	26	57
割合		0%	0%	10%	44%	46%	

平均介護度 全体 4.35 男性 4.13 女性 4.44

年齢状況 (令和4年3月31日 現在)

単位：人

		~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100以上	合計
年齢	男	1	4	2	1	3	2	2	1	0	16
	女	1	0	3	2	4	12	11	8	0	41
合計		2	4	5	3	7	14	13	9	0	57

平均年齢 全体 84.95 歳 男性 77.63 歳 女性 87.80 歳

高齢者食事サービス稼働実績

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
昼食	食数	107	115	107	111	110	120	135	95	80	72	66	73
	平均	3.5	3.7	3.5	3.5	3.5	4.0	4.3	3.1	2.6	2.6	2.3	2.3
夕食	食数	282	303	302	312	308	319	348	339	321	283	272	303
	平均	9.4	9.7	10.0	10.0	9.9	10.6	11.2	11.3	10.4	10.1	9.7	9.8
合計	食数	389	418	409	423	418	439	483	434	401	355	338	376
	平均	12.9	13.4	13.5	13.5	13.4	14.6	15.5	14.4	13.0	12.7	12.0	12.1
昨年	食数	515	510	403	415	379	394	382	309	333	332	334	357
	平均	17.1	16.4	13.4	13.3	12.1	13.1	12.3	10.3	10.9	11.9	11.9	11.4

令和 2年度 平均 4,663食 ÷ 362日 = 12.9食

令和 3年度 平均 4,883食 ÷ 362日 = 13.5食

. 医務

来受診状況 (令和3年度 月別集計)

単位：人

	内科	外科	整形外科	歯科 (往診含)	眼科	皮膚科	脳外科	精神科	その他	合計
4月	7	2	0	37	0	10	0	20	3	79
5月	12	1	1	36	0	10	2	0	2	64
6月	12	0	3	35	0	8	0	18	5	81
7月	6	3	0	29	2	8	0	18	3	69
8月	7	0	1	36	0	11	0	18	2	75
9月	1	2	3	36	0	8	1	18	4	73
10月	6	4	0	39	0	12	1	18	0	80
11月	9	1	0	36	0	8	21	6	5	77
12月	11	0	0	37	0	10	0	15	0	73
1月	2	0	0	34	1	14	0	16	1	68
2月	3	0	2	17	1	7	0	16	2	48
3月	3	0	3	45	0	9	1	17	2	80
合計	79	13	13	417	4	115	7	190	29	867

人健診及び職員検診の実施

老人健診 令和3年 6月25日に実施。 59名(本入所53名 短期入所6名)

検診内容：胸部レントゲン 心電図 血圧測定 血液検査一般 検尿

職員健診 令和3年 6月25日に実施 10名(夜勤対応職員対象)

令和3年11月12日に実施 53名(全職員対象)

新型コロナワクチン予防接種 1・2回目 入所者 45名 職員 53名

3回目 入所者 49名 職員 47名

ｲﾝﾌﾙｴﾝزا 予防接種 入所者 62名・職員対象 41名(令和3年10月26日～12月に実施予定)

入退院状況（令和3年度 月別集計）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	0	1	5	3	1	0	0	0	3	0	0	0	10
退院	0	1	3	5	1	0	0	0	0	3	0	0	10
延べ日数	0	0	41	41	11	0	0	0	26	28	0	0	93
昨年	90	60	64	46	30	0	9	22	14	28	41	27	431

・厨房

行事食

	行事食（昼食・おやつ）メニュー
4月	21日 誕生会
5月	1日 開所記念 1日 八十八夜 ・ 5日端午の節句 ・ 19日 誕生会
6月	17日 誕生会
7月	7日 七夕 ・ 21日 誕生会 ・ 28日 土用の丑
8月	18日 誕生会 ・ 23日 お祭り献立
9月	20日 敬老会・15日 誕生会 ・ 21日 十五夜 ・ 23日 彼岸おはぎ
10月	15日 誕生会・24日運動会
11月	17日 誕生会
12月	15日 誕生会&餅つき ・ 22日冬至 ・ 24日 クリスマス ・ 31日 年越しそば
1月	1日 新年祝賀会 ・ 7日 七草粥 ・ 11日 鏡開き ・ 15日 小正月 ・ 19日 誕生会 ・ 31日 晦日正月
2月	3日 節分 ・ 14日 バレンタイン ・ 16日 誕生会
3月	3日 ひなまつり ・ 16日 誕生会 ・ 21日 春分の日

以上

令和3年度 横浜市岩崎地域ケアプラザ事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

<基本理念>

- (1)地域における市民の自主的な福祉活動、保健活動等のための場を提供し、市民の誰もが日常的に相互に支えあい、住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられる地域社会の実現に資する。
- (2)地域住民の方が、生活に関する相談全般について「まずプラザで相談してみよう。」と思われる施設となりたい。

<運営方針>

- (1)利用者を主体としたサービスの提供と生活支援。
- (2)快適な環境作り。
- (3)笑顔のもと明るくてきばきとした対応。
- (4)地域福祉の拠点となるため、自治会・ボランティア団体・学校・社会福祉協議会等との連携、協力をすすめる。
- (5)地域住民をはじめとした実習生、介護体験、見学者、ボランティアの受け入れを通じて当施設の理解の増進および人材育成の役割を担います。

<施設全体としての～振り返り～>

- (1)横浜型地域包括ケアシステムの実現に向けた、多職種の協働による個別ケースの地域ケア会議の実施と地域包括地域ケア会議の実施による地域課題の把握と新たな社会資源の創設に取り組みました。
- (2)地域の乳幼児から高齢者等に対して、総合相談・支援事業の実施をはじめ、各関係機関との支援ネットワーク構築や関係団体との連携強化、協働作業等の環境づくりを積極的に推進することに努めました。
- (3)地域支えあい推進として、地域のインフォーマルサービスの整備と新たな自主事業を展開し、様々な担い手づくり、子育て支援の環境づくり、地域資源の活用に取り組みました。
- (4)地域にプラザを再周知すると共に、必要な情報が届けられるよう、様々な媒体の取組みを実施し必要人に的確に支援が届くよう地域との連携・協議の場を拡充し福祉保健活動拠点としての役割に努めました。
- (5)人材不足の課題解決に向け、地域福祉を推進するための環境づくりや課題解決へ向けた人材確保と育成を図り職員がやりがいをもって業務を行うことができるよう、今まで以上に職場環境の改善に努めました。
- (6)今後、ますますケアプラザ機能に求められる業務拡大の対応として、ケアプラザ内での協働・密接な連携が図れる組織体制の構築と機能強化を図り、特に職種間連携に努めました。
- (7)横浜市からの関係通知に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮して自主事業・貸館業務・介護サービス事業等の実施に取り組みました。

<令和4年度に向けた課題>

- (1)横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた保土ヶ谷区アクションプランの推進と社会資源の創設に努めます。
- (2)関係団体との連携強化、協働作業等の環境作りを積極的に推進していきます。
- (3)様々な世代へ新たな自主事業を展開し、担い手の発掘と地域資源の活用を進めていきます。
- (4)福祉保健活動拠点として地域へ必要な支援が十分に届けられるよう役割を拡充していきます。
- (5)全職員が働きやすい労働環境整備と人材確保に努めていきます。
- (6)組織体制のさらなる強化と個々のスキルアップを図っていきます。
- (7)新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた正しい認識をもつとともに、感染症対策マニュアルを通して日頃の備え、感染防止の基本等を含めた共通理解に取り組んでいきます。
- (8)新型コロナウイルス感染症の対策をしながら、地域コミュニティのつながりを保ち続けるために、様々な取り組み、できる範囲での活動を継続していきます。

I. 地域包括支援センター事業

令和4年3月末現在

地域包括支援センターは、高齢者の皆様が住み慣れた地域でいつまでも充実した毎日を過ごすために総合的な相談・支援を行う機関であり、3職種・介護予防プランナーにてお互いに連携して日常生活の支援や様々な相談に応じています。事業内容は総合相談支援・権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント、自主事業を実施している。各事業毎の実績は以下の通りである。

1. 総合相談・支援事業 (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

地域の高齢者等に対して面接、電話等による相談を実施し、必要な支援内容を把握するとともに、地域における適切な機関、制度、サービスの利用に繋げる等の支援を行うほか、相談者からの依頼を受けて必要がある場合に、相談者の自宅等を訪問し、安否確認、情報提供、各種福祉保健サービスの申請受付等に努めている。

相談事業実績 合計 925 件 前年度(3月末日) 783 件
利用方法別

分類		手段			時間帯	
新規	継続	面接	電話	FAX・その他	9～17	17～21
425	500	175	744	6	902	23
合計	925 件	合計	925 件		合計	925 件

対象者別 合計 925 件

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
87	0	242	268	286	10	32

相談者別 合計 981 件 (重複有り)

本人	家族	地域住民	サービス事業者	施設・医療	区役所	区社協	他のケアプラザ	その他
130	422	55	222	81	48	2	9	12

相談内容別 合計 1178 件 (重複有り)

介護保険	介護予防事業	包括支援事業	行政サービス	インフォーマルサービス	介護医療	施設入所入院	日常生活課題	苦情	成年後見	虐待	その他
673	2	0	9	14	141	35	186	7	35	15	61

訪問事業実績 合計 431 件 前年度(3月末日) 407 件

利用方法別

分類		訪問先			時間帯	
新規	継続	家庭	病院・施設	その他	9～17	17～21
27	404	-	-	-	430	1
合計	431 件	合計	0 件		合計	431 件

対象者別 合計 431 件

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
32	0	164	88	146	1	0

援助内容別 合計 585 件 (重複有り)

安否確認 状況確認	介護・保健等 指導助言	申請受付		他機関等との サービス調整	情報提供	その他
		介護保険	行政サービス			
41	65	100	1	228	70	80

2. 地域ケア会議 (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

多職種による個別事例の検討を通じ、高齢者の自立に資するケアプランにつなげていくとともに、個別事例の検討を積み重ねることにて、地域課題を発見し、新たな資源開発につなげていく。

個別地域ケア会議 (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

開催月	内 容	参加人数
-		-
合計	0回	0人

3. 権利擁護事業 (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

福祉保健関係者とのネットワークを構築し、支援を要する方を早期発見し相談に繋げられるように体制を整備すると共に、研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めている。また、地域の方へ情報を提供している。

認知症連絡会・虐待担当者会議(保土ヶ谷区)

開催月	内 容	参加人数
4月26日	虐待担当者会議(区、包括社福)	6人
5月17日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	14人
5月31日	虐待担当者会議(区、包括社福)	7人
6月14日	認知症担当者部会 区内郵便局向けサポーター養成講座打合せ(区、包括)	6人
6月25日	虐待担当者会議(区、包括社福)	7人
7月1日	認知症担当者部会 区内郵便局向けサポーター養成講座打合せ(包括、郵便局)	7人
7月9日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	14人
7月19日	虐待担当者会議(区、包括社福)	4人
7月27日	認知症担当者部会 区内郵便局向けサポーター養成講座打合せ(区、包括)	5人
8月26日	虐待担当者会議(区、包括社福)	5人
9月10日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	13人
9月13日	認知症担当者部会 区内郵便局向けサポーター養成講座打合せ(区、包括)	5人
9月19日	認知症担当者部会 区内郵便局向けサポーター養成講座打合せ(区、包括)	5人
9月30日	虐待担当者会議(区、包括社福)	6人
11月10日	虐待担当者会議(区、包括社福)	6人
11月12日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	14人
12月14日	虐待担当者会議(区、包括社福)	6人
1月4日	虐待担当者会議(区、包括社福)	5人
1月14日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	15人
合計	19回	124人

認知症・権利擁護関係研修

職員が研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めている。

開催月	内 容	参加人数
5月26日	認知症支援事業基礎研修	1人
6月11日	令和3年度区役所・地域包括支援センター職員向け高齢者虐待防止事業 基礎研修(きほんのき)	2人
6月22日	成年後見制度利用促進 相談支援機関向け研修	2人
8月2日	在宅高齢者虐待防止事業包括向け基礎研修	1人
8月13日	令和3年度区役所・地域包括支援センター職員向け高齢者虐待防止事業 基礎研修(きほんのほ)	2人
11月19日	市民後見サポートネット	1人
1月21日	成年後見サポートネット全体会	1人
合計	7回	10人

権利擁護講座・相談会

事業所、地域の方への情報提供、普及啓発、利用促進のための事業。

開催月	内 容	参加人数
4月14日	権利擁護相談(出張個別相談会)	2人
6月9日	権利擁護相談(出張個別相談会)	0人

8月18日	権利擁護相談(出張個別相談会)	1人
1月20日	権利擁護相談(出張個別相談会)	1人
2月1日	権利擁護相談(出張個別相談会)	1人
3月16日	権利擁護相談(出張個別相談会)	1人
合計	6回	6人

介護者のつどい

地域の方々を対象に介護に関する情報提供や医療に関する勉強会を開催し在宅生活の安定を図る。

開催月	内 容	参加人数
9月30日	緊急事態宣言発令中のため中止	0人
11月18日	もくようびのすまいる	6人
1月20日	もくようびのすまいる	4人
合計	3回	10人

4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業 (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

地域における包括ケア体制の構築のために地域の介護支援専門員を対象とした専門家との相談会、研修会・意見交換会(ケアマネ連絡会、合同ケアマネ連絡会、地域ケア会議)を実施している。

また、地域の方々へ情報発信とは別に介護・医療セミナーを開催している。

ケアマネ連絡会

開催月	内 容	参加人数
4月14日	「法テラスによる後見制度について」(区内7包括合同ケアマネ連絡会)	43人
5月11日	「アルコール依存症を学ぶ」(区内7包括合同ケアマネ連絡会)	61人
5月14日	「介護保険制度改正について」(ほどがやケアマネ研修会) ZOOM研修	
6月15日	「失語症の方への支援について」(区内7包括合同ケアマネ連絡会)	54人
9月15日	「働く人の健康について」(区内7包括合同ケアマネ連絡会)	28人
11月5日	「人生会議(ACP)ってなに」(多職種連携会議全体会) ZOOM研修	
11月17日	「認知症最新情報について」(区内7包括合同ケアマネ連絡会)	64人
12月15日	「高齢者に多い症状と薬の話」(区内7包括合同ケアマネ連絡会)	31人
12月16日	「地域包括ケアシステム～地域資源を考える～」(区内7包括合同主マネ連絡会)	14人
1月19日	「介護予防支援伝達研修」(区内7包括合同ケアマネ連絡会)	30人
2月16日	「心の病気の理解と支援者の関り方」(区内7包括合同ケアマネ連絡会)	60人
合計	11回	385人

サービス担当者会議の開催支援や抱えている困難事例等への相談支援の実施。また新任・就労予定のケアマネジャーが円滑に業務が進められるよう、区単位で実習の受入調整・支援を実施している。

ケアマネジャー相談支援

相談件数	相談内容													対応											
	介護保険制度 政サービス情報関連 行	地域情報関連	ケアプランの作成・内容等	支援困難事例への内訳										対応・他機関との調整						同行訪問	その他				
				認知症	精神疾患	ターミナル	医療的支援	独居・高齢世帯介護力不足	サービス・支援拒否	家族の対応・支援	経済的問題	虐待	成年後見制度・消費者被害	その他	制度・行政サービス等の説明・情報提供	地域情報の提供	ケアプラン・ケアマネジメントの助言・指導	居宅サービス事業者等	インフォーマルサービス			在宅医療連携拠点(在宅医療相談室)	施設・医療機関	区役所	その他
4月 44人	4	0	18	3	1	0	1	1	3	5	0	1	3	9	1	0	19	7	0	0	1	4	4	11	7
5月 33人	3	0	12	5	0	0	0	5	2	5	1	3	5	10	8	1	14	4	0	0	1	4	4	8	15
6月 19人	2	0	6	3	0	0	0	2	0	5	0	2	2	1	3	0	7	2	0	0	0	4	2	9	4
7月 30人	2	1	8	0	1	1	0	2	0	2	0	3	3	7	2	1	9	2	0	0	1	8	0	9	10
8月 23人	2	1	15	4	0	0	1	7	2	4	0	0	1	2	6	1	15	1	0	0	2	5	0	3	3
9月 16人	2	0	12	1	2	0	2	4	2	1	0	1	0	1	3	0	2	1	0	0	0	1	0	4	2

10月	17人	1	0	13	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3	3	3	0	8	3	0	0	1	2	1	4	1
11月	13人	0	0	6	0	0	0	0	2	4	0	0	2	2	1	0	6	1	0	0	0	2	0	1	5	
12月	12人	0	0	4	3	0	2	0	1	2	5	0	1	2	1	0	0	2	3	0	0	0	3	0	2	5
1月	15人	1	0	9	0	0	0	1	1	1	3	0	1	2	1	3	0	8	0	0	0	0	2	1	0	5
2月	16人	3	0	11	4	0	0	0	2	3	2	0	2	4	3	3	0	10	2	1	0	0	3	0	0	10
3月	26人	4	0	18	0	0	0	1	1	1	4	1	0	2	5	7	0	18	0	0	0	1	7	2	0	10
合計	264人	24人	2人	132人	24人	4人	3人	6人	26人	18人	41人	2人	14人	29人	45人	40人	3人	118人	26人	1人	0人	7人	45人	14人	51人	77人

新任・就労予定ケアマネジャー研修

	内 容	参加人数
第1日目	行政サービス・かるがもの会・あんしんセンター・予防プラン・生活保護・精神保健業務・ふれあい収集について	8人
第2日目	実習(同行訪問)	1人
第3日目	施設紹介、反町福祉機器センター見学及び「在宅リハビリテーション事業」「住環境整備事業」について講義	8人
合計	3回	17人

地域密着型サービス運営推進会議他

地域密着型サービスの運営推進会議参加。運営状況等確認、アドバイス。

開催月	内 容	参加人数
4月5日	地域密着型通所介護ひなた保土ヶ谷店(書面)	
5月5日	グループホーム若草の丘(書面)	
5月31日	グループホームひばり苑(書面)	
5月19日	保土ヶ谷区在宅医療相談室運営会議	21人
7月5日	グループホーム若草の丘(書面)	
7月14日	小規模多機能型居宅介護われもこ	3人
8月15日	グループホームひばり苑(書面)	
9月10日	グループホーム若草の丘(書面)	
10月1日	グループホームひばり苑(書面)	
10月17日	地域密着型通所介護ひなた保土ヶ谷店(書面)	
11月2日	グループホーム若草の丘(書面)	
11月17日	保土ヶ谷区在宅医療相談室運営会議	21人
11月18日	小規模多機能型居宅介護われもこ	3人
12月1日	グループホームひばり苑(書面)	
1月14日	グループホーム若草の丘(書面)	
2月15日	グループホームひばり苑(書面)	
3月7日	グループホーム若草の丘(書面)	
合計	17回	48人

5. 介護予防事業 (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

地域において自主的な介護予防に資する活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組が自主的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防に関する活動の普及・啓発と育成・支援を実施している。

介護予防事業実績

介護予防普及啓発事業 合計 122人

開催日	事業名	種別	参加人数
6月3日	お元気NEXT	介護予防普及啓発	10人
6月30日	保土ヶ谷南部地区わがまちほ도가や体操	介護予防普及啓発	39人
7月14日	わくとく講座	介護予防普及啓発	16人
7月30日	大塚製薬 オンライン研修	介護予防普及啓発	6人
11月19日	心と体とお金の健康講座	介護予防普及啓発	5人
12月6日	保土ヶ谷南部地区口腔ケア教室	介護予防普及啓発	46人
合計	6回		122人

介護予防活動支援事業 合計 84人

開催日	事業名	種別	参加人数
5月21日	さくらコスモス健康測定会	介護予防活動支援	10人
7月12日	桜ヶ丘第一桜寿会体操作り	介護予防活動支援	14人
10月11日	桜ヶ丘第一桜寿会体操作り	介護予防活動支援	20人
10月24日	雲手会体力測定	介護予防活動支援	6人
11月8日	桜ヶ丘第一桜寿会体操作り	介護予防活動支援	17人
11月19日	さくらコスモス健康測定会	介護予防活動支援	12人
11月24日	弥生の会体力測定	介護予防活動支援	5人
合計	7回		84人

6. 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業 (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

「要支援1」「要支援2」に認定された方の介護予防支援サービス・支援計画書の作成を実施している。また、業務の一部を居宅介護支援事業者の介護支援専門員に委託できることとなっており、介護予防支援サービス・支援計画書作成委託契約の上、介護予防支援、介護予防ケアマネジメントをお願いし、管理・実施をしている。

介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業実績

指定居宅介護支援事業所に委託している件数 延合計 4233人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	委託利用者数
新規	11	10	7	8	10	6	11	14	9	2	12	6	106
継続	322	322	337	354	349	348	348	353	359	349	338	348	4127
合計	333	332	344	362	359	354	359	367	368	351	350	354	4233

	直接				委託				直接	委託	合計
	要支援1		要支援2		要支援1		要支援2				
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続			
4月	0	15	0	24	8	99	3	223	39	333	372
5月	0	14	0	23	6	104	4	218	37	332	369
6月	2	12	1	20	5	91	2	246	35	344	379
7月	0	7	0	8	4	97	4	257	15	362	377
8月	0	7	0	7	7	99	3	250	14	359	373
9月	0	7	0	6	1	102	5	246	13	354	367
10月	0	7	0	4	4	101	7	247	11	359	370
11月	0	4	0	4	6	105	8	248	8	367	375
12月	2	4	0	3	6	111	3	248	9	368	377
1月	0	5	0	2	0	109	2	240	7	351	358
2月	0	2	0	2	9	105	3	233	4	350	354
3月	0	3	0	2	2	115	4	233	5	354	359
合計	4	87	1	105	58	1238	48	2889	197	4233	4430

7. 協力医による相談

無料医療相談

月に1～3回程度ケアプラザへ来所して頂き、地域活動交流・地域包括支援センター事業に関する協力を実施する。現在は、無料医療相談会・医療的な講義を実施している。

開催日	区分	相談内容等	相談人数
11月18日	包括・地域	事業に関する協力	1人
1月20日	包括・地域	事業に関する協力	1人
合計		2回	2人

8. 自主事業 (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

キャラバン・メイト連絡会

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民(認知症サポーター)を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構築するための連絡会と講座を開催する。

開催日	内 容	参加人数
4月12日	地域での見守りの目を増やすために意見交換	5人
5月10日	見守りの目を増やすための周知や啓発についての検討	4人
6月14日	見守りの目を増やすための場づくりについての討議	6人
7月12日	見守りの目を増やすための場づくりについて具体的な方向性の検討	5人
12月13日	緑区社協「お散歩カフェ」実践事例から学ぶ	3人
1月17日	活動内容について検討	3人
合計	6回	26人

認知症サポーター養成講座

開催日	場 所	参加人数
8月20日	コープ保土ヶ谷集会場(保土ヶ谷地区民児協対象)	17人
10月13日	保土ヶ谷郵便局会場とZOOM (区内郵便局職員対象)(区、7包括共催)	45人
10月19日	保土ヶ谷郵便局会場とZOOM (区内郵便局職員対象)(区、7包括共催)	24人
12月24日	保土ヶ谷公会堂(区老連対象)(区、7包括共催)	236人
合計	4回	322人

出張講座

地域で行っているサロン等に参加し、ケアプラザが身近な存在であることを理解して頂く。地域包括支援センターの役割を理解して頂き、介護保険制度・介護予防の必要性や取り組み方等、いざに備え安心して生活を送っていただくことを目的に実施している。

開催日	内 容	場 所	参加人数
	実施なし		
合計	0回		0人

情報啓発等

介護予防、介護保険制度、権利擁護の周知、啓発等
来所が難しい地域住民に対して健康相談、生活相談等を受け、必要な制度資源につなげる。

開催日	内 容	場 所	参加人数
	実施なし		
合計	0回		0人

II. 地域活動・交流事業

令和4年3月末現在

地域活動事業は、子どもや高齢者、障がい者等、地域に暮らす全ての人たちが、孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせる地域づくりを推進できるよう努めています。住民主体の地域づくりが推進するよう、地域福祉保健計画を軸とした事業展開を行い、子育て、障がい、高齢、ボランティア等の福祉に関する事業を実施します。ケアプラザは6連合地区を担当している為、ケアプラザでの実施だけではなく地域に出向いた形での出張講座をケアプラザ主催もしくは関係機関等と共催にて実施し、様々な交流の場を提供致します。また、福祉保健活動拠点としての役割を更に活かすため、地域のボランティア団体・自治会との連携を図り、活動団体へ向けた部屋利用促進も図っています。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、コロナ禍の状況でも地域活動を後押しすることができる取組等の検討を区役所および区社会福祉協議会と重ね、地域との信頼関係が継続できるように努めております。

(1) 地区支援取組状況

第4期地区別計画策定・推進に向けて、所長および地域包括支援課、地域生活支援課と協働し、区役所、区社会福祉協議会とともに各地域の状況やニーズ把握に努めています。地域住民主体の活動を後押しできるよう、地域住民と地域の目指す姿を共有し、住民主体の地域づくりが更に推進するよう努めています。

地区	頻度	参加	内 容
保土ヶ谷地区	2ヶ月に1回 (その他必要に応じ随時)	13回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・保土ヶ谷地区ほっとなまちづくり実行委員会 (地区社会福祉協議会定例会) ・地区民生委員児童委員協議会定例会・あんしん訪問員研修 ・みんなでキッチンスタッフ会議・生活支援VOスタッフ会議
保土ヶ谷中地区	3ヶ月に1回 (その他必要に応じ随時)	12回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・地区民生委員児童委員協議会 ・保土ヶ谷中地区ほっとなまちづくり実行委員会
保土ヶ谷南部地区	毎月1回 (その他必要に応じ随時)	18回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会(南部地区社協運営委員会) ・地区民生委員児童委員協議会定例会 ・瀬戸ヶ谷町自治会家庭防災員 ・見守り部会、交流部会
保土ヶ谷東部地区	必要に応じ随時	7回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会役員会 ・ほっとなまちづくり委員会 ・地区民生委員児童委員協議会定例会 ・あんしん訪問員研修
岩間地区	毎月1回 (その他必要に応じ随時)	13回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・地区民生委員児童委員協議会定例会 ・あんしん訪問員研修 ・まごころホルダー実行委員会(まごころホルダー作業部会)
岩井町原地区	必要に応じ随時	20回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区民生委員児童委員協議会定例会・健康マップ作製委員会 ・地区保健活動推進員定例会議 (わくわく体操×とく講座実行委員会)

(2) ネットワーク関係

○岩崎サポートネットワーク(ボランティア連絡会・CM連絡会・介護予防連絡会)

話し合いの場を持ち、問題を解決する方法を模索していくための連絡会です。

開催回数 0 回 参加者 0 名

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から今年度は中止

○子育て支援連絡会全体会

全体会は区域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げたり、他のエリアの事例を聞き勉強し、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数 1 回 参加者 88 名

○岩崎エリア子育て支援連絡会

子育て支援連絡会は地域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げ、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数 1回 参加者 24名

・6月8日：子育て情報発信および受取についての整理・共有について(24名)

※上記の連絡会に向けての協議や地域状況の共有等を目的とした事務局会議を適宜実施しています。

開催回数 9回 参加者 66名

- ・4月21日：今年度のエリア別連絡会の実施に向けた検討、顔合わせ(7名)
- ・5月28日：6/8実施予定のエリア別連絡会について内容検討(7名)
- ・7月15日：6/8実施エリア連絡会の意見集約、まとめ(10名)
- ・8月17日：情報発信ツールの細部検討等(7名)
- ・9月22日：岩井町原地区アセスメント実施(7名)
- ・10月22日：保土ヶ谷中地区アセスメント実施(7名)
- ・11月26日：3/3実施予定のエリア別連絡会について内容検討(7名)
- ・12月17日：保土ヶ谷東部地区アセスメント実施(7名)
- ・1月28日：次年度実施の岩崎エリア子育て支援連絡会の最終確認(7名)

(3) 自主事業(当初計画および状況報告)

計画事業名	実施予定頻度	講師など	参加者	内容
ダウン症の会	毎月第1土曜日	福地 玲子	現在 休止中	ダウン症の子と保護者によるヒップホップダンスを通じての交流の場
こどもランド	毎月第2月曜日 第3土曜日	—	現在 休止中	イベント・フリースペース等親子の集いの場。近隣保育園等との交流
リズムあそび	毎月第1水曜日	柿崎 美也子	現在 休止中	リトミックを取り入れた音楽遊びと親子の居場所づくり デイサービスでの世代間交流
大人のヨガ教室	毎月第2火曜日	藤島 洋子	現在 休止中	帷子町会館にて実施 地域住民を対象としリラックス効果と健康増進を目指す ヨガを通じた仲間づくり
玄米ダンベル体操リターンズ	毎月第3金曜日	表 和美	現在 休止中	太陽の国ほだかやにて実施 介護予防・普及啓発 基礎体操から玄米ダンベル(1本300g前後)を使用した体操を実施し地域で体操の出来る場所作りを目的とする。
ちくちくサロン	毎月第3水曜日	—	現在 休止中	雑巾やアクリルたわしなどを作成し、近隣の施設等へ寄付する社会貢献参加型のオープンサロン。
お元気NEXT	6月3日	岡田 雅史	10名	コロナ禍の状況を公園を活用し健康増進を目的とした介護予防事業
もくようびのすまいる	11月18日 1月20日	—	6名 4名	地域住民の居場所づくり、福祉・地域情報の発信、介護者支援

※現在、所内会議およびコーディネーター会議にてコロナ禍で行える自主事業(新しい生活様式、集わなくても繋がる等の内容)についての今後に向けた協議・検討を重ねています。

(4) 他ケアプラザ、関係機関等との共催事業(当初計画および状況報告)

計画事業名	実施日・実施予定日	参加者	内容
おしえて幼稚園のこと	今年度中止	—	保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こっころ共催事業 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、中止 次年度実施に向け、保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こっころと調整中

出張講座	10月30日 11月21日	315名	ケアプラザの役割について、介護保険制度について、地域における見守り活動等の内容を地区社会福祉協議会、各自治会町内会、活動団体との共催にて実施
わくワク体操×とくトーク講座	7月14日	16名	保土ヶ谷区福祉保健課健康づくり係、高齢・障害支援課、岩井町原地区連合町内会、岩井町原地区保健活動推進員、特別養護老人ホーム太陽の國ほ도가や共催事業
福祉教育授業の参加	4月30日 5月11日 12月17日	121名	各小中学校および保土ヶ谷区社会福祉協議会共催事業 ケアプラザについて、高齢者への接し方、地域福祉について授業等を実施 保土ヶ谷小学校5年生・6年生、初音が丘小学校3年生

(5) 後方支援事業

自主事業等から発足した団体等の後方支援を行い、活動団体運営の安定化を図っております。

事業名	実施日	実施回数	内容
G・スマイル	毎月第2・4 木曜日	20回	イスに座ったままできる体操の実施及びメンバー間の交流促進
肉体美改造計画	毎月第4 金曜日	8回	介護予防普及・啓発 玄米ダンベルを用いた体操の実施及びメンバー間の交流促進
きらり★シニア塾グループ活動支援	随時実施	4回	きらり★シニア塾として活動しているグループを中心に体力測定や健康教育等を実施
岩崎認知症キャラバン・メイト	毎月第2月曜日	6回	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民(認知症サポーター)を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構築するための連絡会を実施

(6) 広報誌の発行

発行回数 毎月発行 発行部数 2,500部/月

自主事業のパンフレットは、近隣自治会の掲示板にも掲示。

又、事業参加者募集に関しては、区の広報誌にも掲載依頼を行っております。

(7) 貸し館状況

・件数実績(R3.4-R4.3)

部屋別	四半期				合計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
多目的ホール	95件	66件	91件	71件	323件
調理室	0件	0件	6件	1件	7件
ボランティア室	0件	10件	13件	4件	27件
地域ケアルーム	18件	18件	44件	11件	91件
合計	113件	94件	154件	87件	448件

・利用率(R3.4-R4.3)

時間帯	部屋別			
	多目的ホール	調理室	ボランティア室	地域ケアルーム
9-12時	49%	1%	4%	12%
12-15時	26%	1%	2%	8%
15-18時	16%	0%	1%	6%
18-21時	1%	0%	1%	1%

※横浜市のお知らせに基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意した施設運営を行っております。社会情勢により都度の利用内容の変更が伴うこともありますが、貸室団体とのコミュニケーションを図りながら、感染防止対策を徹底し、より多くの皆様にプラザを活用していただけるよう、引き続き努めてまいります。

(8) ボランティア関係

団体名	内容	登録者数	実施回数
きさらぎの会	中途障害者の居場所づくり	5人	2回
さぼーと岩崎	高齢者対象のサロン	5人	0回
岩崎男性ボランティア	高齢者等のお宅の草刈、修繕、手伝いなど	10人	42回
岩崎認知症 キャラバンメイト	認知症サポーター養成講座の開催、打ち合わせ	8人	6回
さくら会	高齢者の健康と体力の維持・増進	3人	22回
コスモス会	高齢者の健康と体力の維持・増進	3人	23回

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、自主的に活動を休止している団体さんもございます。既に活動を段階的に再開している団体さんもございますが、今後も引き続き活動が円滑に実施できるよう地域包括支援課、地域生活支援課と協働し支援を行っていきけるよう、努めていきます。

(9) その他 取組状況

項目名	頻度	参加	内容
地域活動・交流CO連絡会	毎月1回	12回	区内他ケアプラザコーディネーターとの情報共有、共催事業についての協議・検討、研修会等の実施
保土ヶ谷区子育て支援連絡 会全体会事務局	6月4日 8月27日 11月12日	3回	エリア別子育て支援連絡会が、各エリア別の地域福祉保健計画と連動して運営できるよう 各エリアの課題を共有し、区レベルで取組むことを目的に実施
ほっとなまちづくりスタートアップ研修	6月30日	1回	区内の地域福祉保健計画に関わる地区社協等の地域組織や地区支援チームに向けた第4期地区別計画推進へ向けた働きかけを目的とした研修に保土ヶ谷地区社協と実践報告者として事例発表を実施
保土ヶ谷区・港南区合同 地域活動・交流CO連絡会	12月15日	1回	区外のコーディネーターとの情報共有や資質向上を目的とした内容にて実施

Ⅲ. 生活支援体制整備事業

令和4年3月末現在

地域のインフォーマルサービスの整備や担い手の発掘、地域の基盤整備等地域の様々な活動把握を行い、ニーズに応じて運営をしております。
 地域の発展やニーズに応えるため、出張講座や地域の取組への参加、介護保険事業所や民間企業との連携、協議体、自主事業等を行っております。
 また、地域の見守りについて強化を図る為、担当の6地区に全てにおいて共有する機会を設け、地域と民間企業、地域ケアプラザが繋がるきっかけづくりを行っております。
 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域の活動団体が減少する傾向にあります。地域の活動団体の継続を目標とし、継続に対するノウハウを伝えたり、共に考えることで、地域と一緒に動くことを念頭に置き支援しております。また、オンラインでの研修開催や、地域への発信方法の変更検討を重ね、地域との信頼関係が継続できるように努めております。

(1) 自主事業(生活支援課共催事業【他事業所共催含】)

事業名	実施日	講師など	参加者	内 容	開催
サービスBC勉強会	5月12日	-	13名	サービスBCの説明およびその活用事例をエリアのケアマネジャーに周知し、活用方法を考える。	地域包括共催
わくワク体操×とくトーク講座	7月14日	-	16名	保土ヶ谷区福祉保健課健康づくり係、岩井町原地区連合町内会、岩井町原地区保健活動推進員、特別養護老人ホーム太陽の國ほ도가や共催事業	地域活動共催 岩井町原連合町内会
しゃべくりピーチ	11月16日	-	6名	岩崎CPエリアにある居宅介護事業所の介護支援専門員を対象に介護予防・生活支援についての情報共有や勉強会をする場。後半は介護支援専門員の悩み等の共有を行う。	地域包括共催
心と体とお金の健康	11月19日	-	5名	健康とは何かを学び、心と体が健康になる体操、お金の無駄な支出を防ぐ、地域活動が健康にもたらす影響等を学ぶ。	地域包括共催

(2) 生活支援依頼・共催講座

事業名	実施日	共催	参加者	内 容	依頼者
桜ヶ丘第一桜寿会 団体継続プロジェクト	7月12日	地域包括支援課	14名	コロナ禍により地域団体の継続が困難になっている為、継続できるように地域の皆様でできることを伝える	桜ヶ丘 第一桜寿会
桜ヶ丘第一桜寿会 団体継続プロジェクト	10月11日	地域包括支援課	20名	地域の皆様でできる体操を考案する。参加者の状態を確認しながらDVDを作成の検討を行う。	桜ヶ丘 第一桜寿会
桜ヶ丘第一桜寿会 団体継続プロジェクト	11月8日	地域包括支援課	17名	作製したDVDを用いて上肢、下肢の筋力が衰えない様にする事で、団体の参加者が継続して参加できるようにする。	桜ヶ丘 第一桜寿会

(3) 行政等依頼関係

依頼内容	実施日	依頼先	場所	内 容	依頼者
ことぶき大学	7月9日	岩崎地域ケアプラザ	保土ヶ谷公会堂	地域ケアプラザについて	区老人クラブ連合会 保土ヶ谷区役所
Co共通研修	12月2日	地域活動・交流Co 生活支援Co	横浜ワールドポーターズ	地域福祉保健計画と両Coの関わりについて	横浜市社会福祉協議会
Co連携事例について	12月13日	地域活動・交流Co 生活支援Co	磯子区社協	コーディネーターの連携について コーディネーター共通研修にて実施	磯子区社会福祉協議会

(4) 地域活動・団体立ち上げ・継続支援(岩崎CP以外での活動等)

団体・活動名	地区	運営	対象	内 容	支援
ご近助隊かりば	保土ヶ谷地区	保土ヶ谷地区 社会福祉協議会	保土ヶ谷 地区	生活支援ボランティア団体の設立・運営 (草刈り・家事・家具移動等)	運営支援
みんなでキッチン	保土ヶ谷地区	保土ヶ谷地区 社会福祉協議会	保土ヶ谷 地区	地域食堂(狩場町東部自治会館を使用) 子供が遊べるスペースの確保・子供、高齢 者限らず地域の方なら誰でも対象カレー やジャンボリアの食事を提供	継続支援 運営支援
まごころホルダー	岩間地区	岩間地区 社会福祉協議会	岩間地区	まごころホルダー(見守りキーホルダー)の 継続から運営までを支援	継続支援 運営支援

(5) 後方支援事業

岩崎地域ケアプラザ自主事業から発足した団体の後方支援を行い、団体の安定化を図っております。

事業名	実施日	実施回数	内 容
肉体美改造計画	毎月第4 金曜日	8回	介護予防普及・啓発 玄米ダンベルを用いた体操の実施及びメンバー間の交流促進 助成金申請方法や団体継続のアドバイスや相談等
Gスマイル	毎月第2,4 木曜日	20回	介護予防普及・啓発 椅子に座ったままできる体操の実施及びメンバー間の交流促進 団体継続や活動のアドバイスや相談等

(6) 地区支援取組状況

担当する6地区の会議等に参加し、地域のニーズや目指す方向性の確認、検討を行っております。

地 区	頻度	参 加	内 容
保土ヶ谷地区	定例会は 2ヶ月に1回 (その他必要 に応じ随時)	13回	<ul style="list-style-type: none"> 区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 保土ヶ谷地区ほっとなまちづくり実行委員会 (地区社会福祉協議会定例会) 地区民生委員児童委員協議会定例会・あんしん訪問員研修 みんなでキッチンスタッフ会議・生活支援VOスタッフ会議
保土ヶ谷中地区	定例会は 3ヶ月に1回 (その他必要 に応じ随時)	12回	<ul style="list-style-type: none"> 区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 地区社会福祉協議会定例会 地区民生委員児童委員協議会 保土ヶ谷中地区ほっとなまちづくり実行委員会
保土ヶ谷南部地区	定例会は 月1回程度 (その他必要 に応じ随時)	18回	<ul style="list-style-type: none"> 区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 地区社会福祉協議会定例会(南部地区社協運営委員会) 地区民生委員児童委員協議会定例会 瀬戸ヶ谷町自治会家庭防災員 見守り部会、交流部会
保土ヶ谷東部地区	役員会は 2ヶ月に1回 (その他必要 に応じて参加)	7回	<ul style="list-style-type: none"> 区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 地区社会福祉協議会役員会 ほっとなまちづくり委員会 地区民生委員児童委員協議会定例会 あんしん訪問員研修
岩間地区	定例会は 毎月1回 (その他必要 に応じ随時)	13回	<ul style="list-style-type: none"> 区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 地区社会福祉協議会定例会 地区民生委員児童委員協議会定例会 あんしん訪問員研修 まごころホルダー実行委員会(まごころホルダー作業部会)
岩井町原地区	役員会は不定 期(その他必要 に応じ随時)	20回	<ul style="list-style-type: none"> 区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 地区民生委員児童委員協議会定例会・健康マップ作製委員会 地区保健活動推進員定例会議 (わくわく体操×とく講座実行委員会)

(7)生活支援取組状況

生活支援関係のニーズ把握や、地域との関係作りの為、下記の取組を行って参りました。
 昨年度より第2層生活支援Co研究会が発足し、横浜市の第2層生活支援Coの底上げの為尽力しております。
 研究会では横浜市の生活支援Co向けのハンドブックとしてアンケート回答集を作成致しました。
 また、地域包括支援センター、地域活動交流事業と連携を図り、地域からの講座依頼等には、積極的に参加や協力をしております。6地区担当をメリットと捉え、他地区の情報や知識を活かしながら、活動しております。

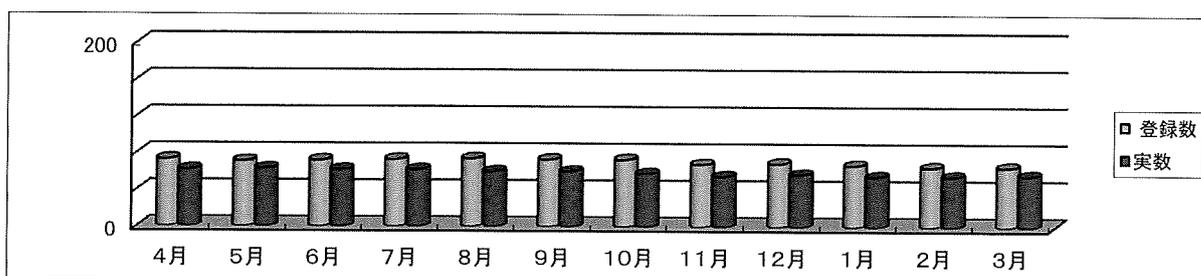
参加項目名	内容	頻度	参加
生活支援Co連絡会の開催	区版指針の作成、他のコーディネーターの取組の共有、研修報告、勉強会等の実施。9月は緊急事態宣言の為中止。	毎月1回	9回
第2層生活支援Co研究会への参加(随時)	第2層生活支援コーディネーターの為の研究会(有志)。課題分析等を行い、今後の計画を立てる。情報交換班、Ayamu班、勉強・研修班、事例検討班に別れて活動中。 ※勉強・研修班に所属(令和3年度研究会代表就任)	毎月1回 (その他必要に応じて)	14回
第2層生活支援Co研究会勉強・研修班主催研修	第2層生活支援Co向け研修。コミュニケーションスキルを高める為、人との接し方等を学ぶ。(オンライン・会場同時開催)講師調整から研修内容の組立てまでを勉強・研修班で実施	随時	必要に応じて
地域の取組への参加	福祉教育、防災訓練、交流会、お祭り等への参加及び生支援体制整備事業の周知	随時開催	6回
地域包括支援課総合相談表分析	地域包括支援課総合相談票より、課題ニーズの把握と分析(生活支援の部分を中心に)		
生活支援関係研修への参加	生活支援コーディネーター研修、介護予防研修、地域フォーラム等への研修への参加	随時開催	7回
地区別データの分析	各地区の高齢化率、人口、インフォーマルサービス等を一覧として整理し、分析を行う		
区役所・区社会福祉協議会との合同カンファレンス	地域包括支援課3職種、地域活動・交流Co、生活支援Co、区役所、区社協と生活支援についての合同カンファレンス 新型コロナウイルス感染拡大防止の為7月、8月、9月は開催見送り	毎月1回	7回
コーディネーター会議への参加	地域活動事業課と合同で開催。自主事業の展開や地域のつながり作りについて検討	毎月1回	10回
所内5職種会議への参加	地域包括・地域活動・生活支援での合同会議により、各課の情報共有と業務の進捗状況の把握	毎月1回	10回

IV. 居宅介護支援事業

令和4年3月末現在

1. サービス利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	73	71	72	73	74	73	73	68	69	67	65	65	843
実数	62	63	62	62	60	60	58	55	57	55	55	56	705
割合	84.9%	88.7%	86.1%	84.9%	81.1%	82.2%	79.5%	80.9%	82.6%	0.0%	0.0%	0.0%	83.6%
前年実数	67	63	66	64	64	64	61	64	61	58	60	64	756

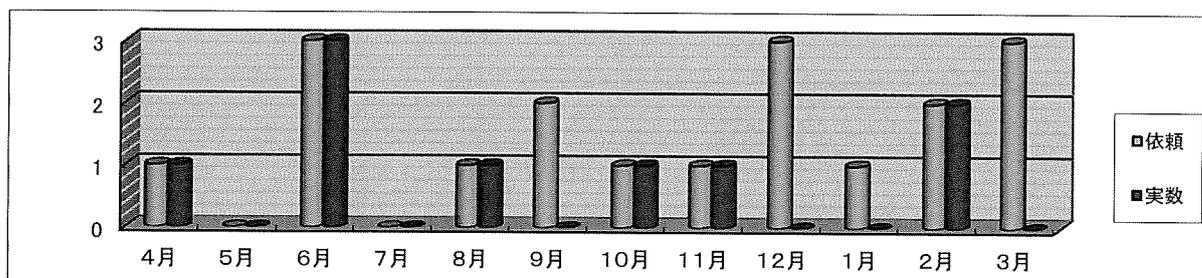


2. 新規サービス開始

令和4年3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
依頼	1	0	4	0	1	2	1	1	4	1	2	3	20
実数	1	0	3	0	1	0	1	1	0	0	2	0	9
割合	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	100.0%

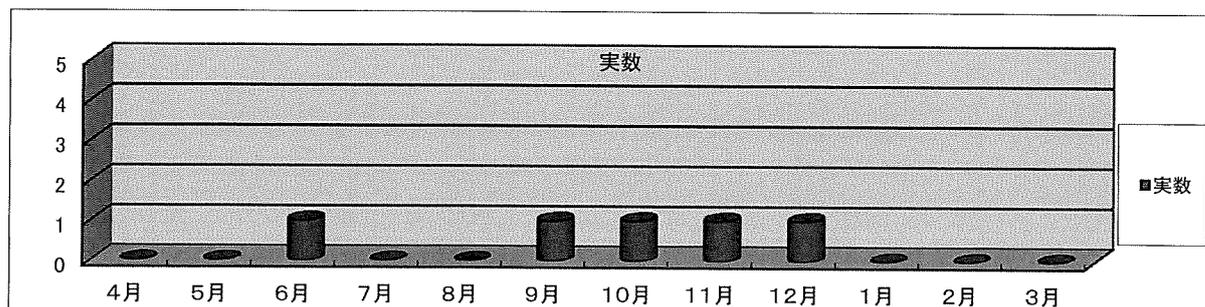
担当件数は、介護給付35件、予防給付8件とする。入院・入所者等の状況に合わせて件数を調整する。



3. サービス利用中止

令和4年3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	73	71	72	73	74	73	70	68	69	67	65	65	840
実数	0	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	5

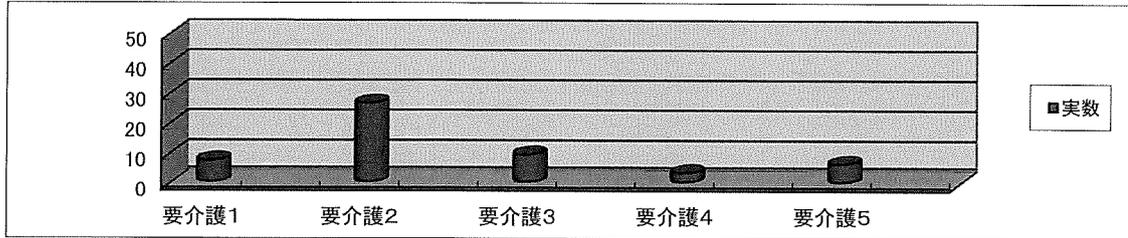


4. 介護度別実績

令和4年3月末現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実数	8	27	10	4	7	56

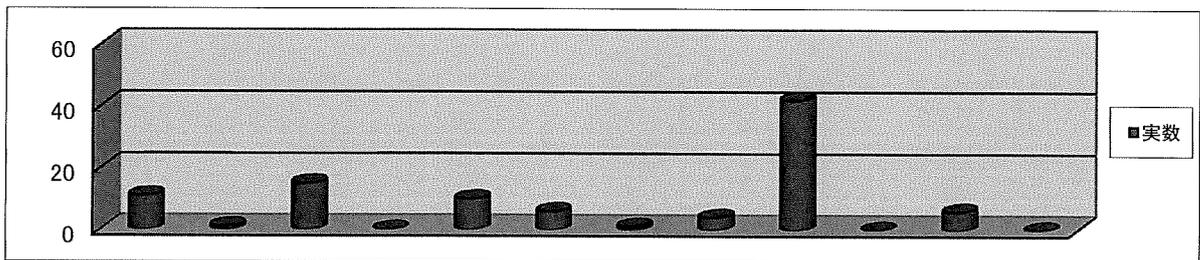
※月末日において認定結果が出ていない方は除いています。



5. サービス種類別分布

令和4年3月末現在

	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	通所介護	通所地域	通所認知	通所リハ	福祉用具	療養管理	短期入所生活介護	短期入所療養介護	合計
業者数	9	1	5	0	11	4	1	3	12	0	3	0	49
実数	11	1	15	0	10	6	1	4	42	0	6	0	96
割合	11.5%	1.0%	15.6%	0.0%	10.4%	6.3%	1.0%	4.2%	43.8%	0.0%	6.3%	0.0%	100.0%

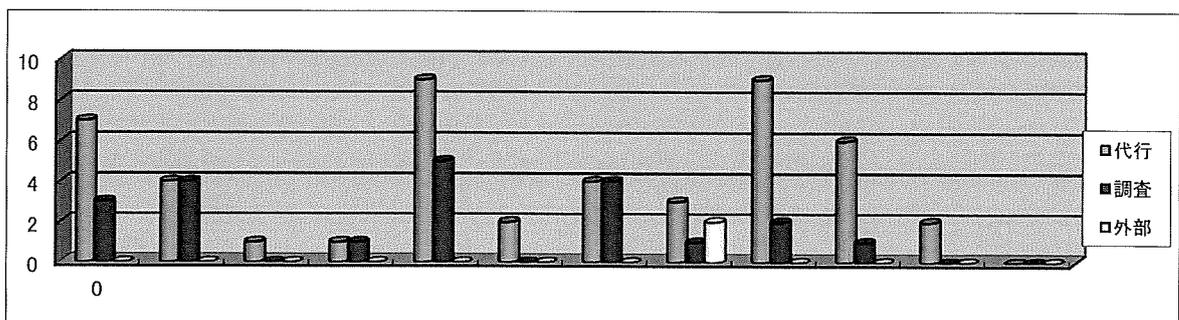


6. 認定調査申請代行件数・認定調査(調査:通常 外部:市外等)実施件数

令和4年3月末現在

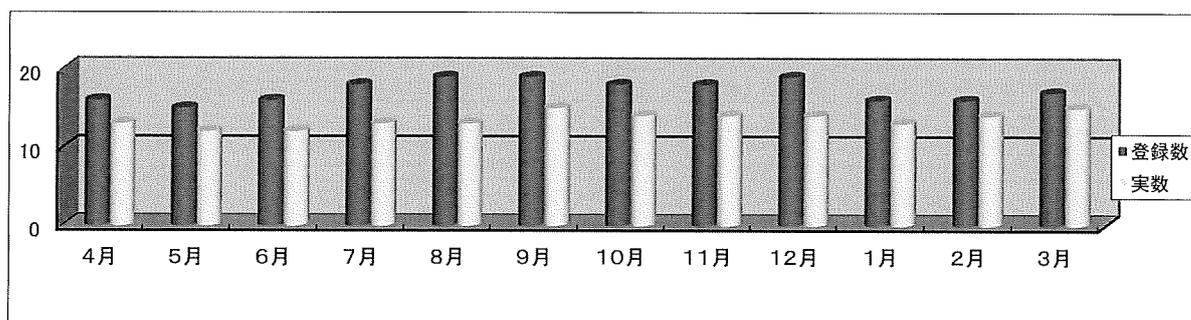
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
代行	7	4	1	1	9	2	4	3	9	6	2	0	48
調査	3	4	0	1	5	0	4	1	2	1	0	0	21
外部	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2

申請代行は、担当している件数。認定調査は、担当者分+地域包括支援課からの依頼分含む。



7. 介護予防利用者実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	16	15	16	18	19	19	18	18	19	16	16	17	207
実数	13	12	12	13	13	15	14	14	14	13	14	15	162
割合	81.3%	80.0%	75.0%	72.2%	68.4%	78.9%	77.8%	77.8%	73.7%	81.3%	87.5%	88.2%	78.3%
前年実数	13	12	14	14	12	11	11	12	12	12	13	13	149



8. まとめ

プランの依頼は主に地域包括支援センターから受けているが、ガン末期や認知症が進行し在宅生活が難しいケースは、入院・入所になり易くサービス提供期間が短い(概ね2~4ヶ月)場合が多い。要支援1・2の場合は更新時、要介護1になっても、また要支援に戻るケースが多くそのまま要支援として委託を受けるので、件数が増える傾向にある。最近では家族からの依頼や病院の医療相談員や退院支援看護師からの依頼も多くなっている。

今年は新型コロナウイルスの影響で、ヘルパー訪問を減らしたり、デイサービス利用回数を減らす利用者やすべてのサービス利用を中止する利用者もあった。高齢者は複数の病気を持っている方も多く、感染リスクが高い事から「不安である」「外出が心配」との声が多く聞かれた。

新型コロナウイルスの流行により、最初の頃は訪問を遠慮してほしいと希望される利用者・家族もあったが、現在はマスクの着用、手洗い・消毒の徹底により訪問してのアセスメントが行えるようになってきている。コロナワクチン接種はほとんどの方が3回の接種を受けたが、若い世代の感染が増えており、同居家族からの感染が心配される。認定調査は、新型コロナウイルスの流行によりすべての更新申請について、面会が困難な場合には臨時的な取り扱いとして、従来の期間に新たに12ヶ月までの範囲で延長できる事になった為、調査数が減っている。区外認定調査も同様の理由で依頼が減少している。

要介護度別に見ると、要介護2・3が多く、要介護4・5は入院、入所になり易い為少ない傾向にある。割合で表すと、要介護1 14.29% 要介護2 48.21% 要介護3 17.86% 要介護4 7.14% 要介護5 12.50%となっている。

V. 通所介護事業

令和4年3月末現在

今年度は、新しいレクリエーションや生活リハビリの個別化、送迎範囲を広げより多くの方にご利用していただけるように、様々な事業展開を行ってまいりました。

身体を動かす機会がない方に簡単で分かり易い体操を考案し楽しみながら自然に体を動かしてもらいました。ゆったりと思いつきの時間を過ごしていただけるように楽しい雰囲気作りを目指し、介護支援専門員と相談しながらサービス提供を行いました。

1 利用実績 (令和3年 4月 1日 ~ 令和4年 3月31日までの実績)

	予防	介護	全体
総利用人数	1354名	7765名	9119名
総可動日数	359日	359日	359日
平均利用者人数	3.7名	21.6名	25.4名

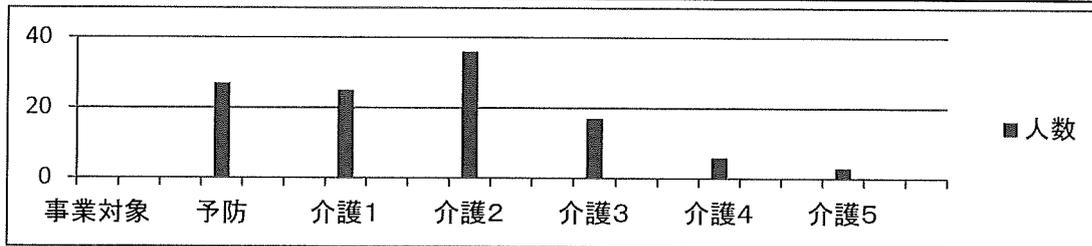
2 申し込み状況 (延べ件数)

申し込み件数 45 件 開始件数 43 件 中止 42 件

中止理由 ① 死亡 14件 ③ 入院 1件 ⑤ 体調不良 4件 ⑦ 転居 2件
 ② 入所 13件 ④ 不希望 5件 ⑥ 他施設利用 3件 ⑧ その他 0件

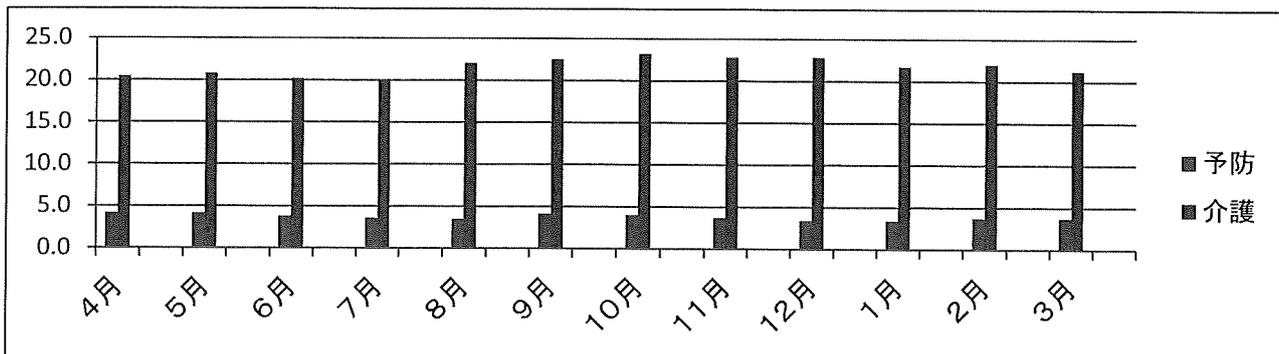
3 要介護度別利用人数と割合

	事業対象	予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
登録	0名	22名	24名	42名	15名	8名	10名	121名
実数	0名	20名	20名	32名	12名	7名	8名	99名
%	0.0%	20.2%	20.2%	32.3%	12.1%	7.1%	8.1%	100.0%



4 月別利用人数と平均

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
予防	125	129	114	111	107	123	126	112	95	94	104	114	1354名	予防
介護	613	645	605	620	684	675	722	683	638	608	616	656	7765名	介護
全体	738	774	719	731	791	798	848	795	733	702	720	770	9119名	全体
日	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359日	日
予防	4.2	4.2	3.8	3.6	3.5	4.1	4.0	3.7	3.4	3.4	3.7	3.7	3.77名	予防
介護	20.4	20.8	20.2	20.0	22.1	22.5	23.2	22.8	22.8	21.7	22.0	21.2	21.6名	介護
全体	24.6	25.0	24.0	23.6	25.5	26.6	27.4	26.5	26.2	25.1	25.7	24.8	25.4名	全体
前年人数	686	660	726	739	765	770	764	766	756	742	731	803	8908名	全体

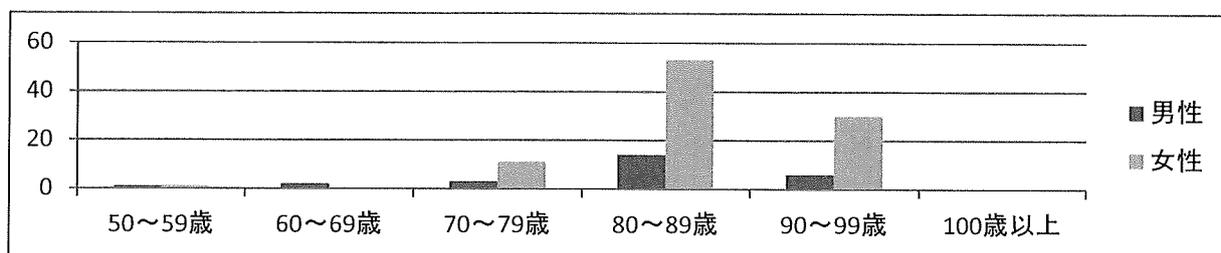


5 町別利用者数 (登録者121名の内訳)

1	岩井町	7名	7	神戸町	1名	13	初音ヶ丘	13名	19	保土ヶ谷	6名
2	岩崎町	20名	8	桜ヶ丘	17名	14	花見台	3名	20	峰岡	0名
3	岩間町	6名	9	瀬戸ヶ谷	7名	15	藤塚町	0名	21	明神台	4名
4	霞台	14名	10	月見台	3名	16	仏向町	1名	22	狩場	9名
5	帷子町	3名	11	天王町	0名	17	法泉	1名	23	その他	1名
6	川辺町	1名	12	西久保	4名	18	星川	0名	24		
										合計	121名

6 利用者平均年齢

	男性	女性		男性	女性
最高年齢	97歳	97歳	50～59歳	1名	1名
最低年齢	56歳	55歳	60～69歳	2名	0名
平均年齢	82.6歳	88歳	70～79歳	3名	11名
全体の平均	86.9歳		80～89歳	14名	53名
人数構成	26名	95名	90～99歳	6名	30名
			100歳以上	0名	0名



7 依頼居宅支援事業者 (総件数 121件の内訳)

他事業所	96件 (28事業所)	自事業所	25件 (包0件)
------	-------------	------	-----------

8 年間行事

4月	10月	避難訓練 (1週間)
5月	11月	
6月	12月	クリスマス会
7月	1月	
8月	2月	
9月	3月	節分祭

9 まとめ

令和3年度の月間目標平均人数は、24.3名と設定しておりますが、令和3年4月から令和4年3月までの月の平均人数は25.4名となり、目標を1.1名超える結果となりました。今後も、より一層、安定した利用者確保のため、新型コロナウイルス感染症の予防対策に取り組み、介護支援専門員等と連携強化を図り、新規利用者の柔軟かつ早急な受け入れ態勢を整え、利用者・家族のニーズに合わせたサービスの提供が出来るように内容の見直し検討を行って参ります。また中重度ケア体制加算の介護3以上が全体の3割以上という要件が満たせず、令和3年12月から令和4年3月まで中重度者ケア体制加算が算定できませんでした。今後は、安定した運営ができるよう詳細な部分も考慮するとともに、臨時利用、欠席の振り替えを積極的に行い、利用者及びご家族様により安心したサービス提供できるように努めてまいります。また、認知症加算が取れるように、職員の研修を実施してまいります。

個別機能訓練や新型コロナウイルス感染症予防対策をしながらできるレクリエーションの提案、送迎範囲の検討、パンフレットの配布、事業所の挨拶周り、他部署との連携等、他事業所との関係づくりを積極的に行い、利用者のニーズに応えられるようにサービスを提供して参ります。

令和3年度 横浜市常盤台地域ケアプラザ事業報告

＜施設理念＞

- (1) 明るく誰もが温もりを感じることでできる施設運営の実現
- (2) 地域住民主体で夢のあるコミュニティづくりの支援
社会福祉法人なでしこ会は、福祉保健サービスを必要とされる方に対して、個々のニーズに即した積極的な援助を行っていきます。

＜事業目的＞

- (1) 地域ケアプラザの果たすべき役割である「地域における市民の健康で安心・安全な生活」の実現に向けて、横浜市と連携・協働して活動します。
- (2) 福祉・保健の拠点として地域に根差し、「地域包括ケア」推進機関として、また各種自主事業実施施設として具体的な目標設定をして事業運営を行います。
- (3) 介護保険事業に関しては、介護保険法の運営基準に従いながら、ご利用者様満足度の高いサービスの実現を図ります。

＜施設全体として～振り返り～＞

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、年度当初からまん延防止措置及び緊急事態宣言の発出が繰り返されたため、マスク着用、手指消毒、体温計測等基本的な感染予防対策を徹底致しました。
- (2) 第4期地域福祉保健計画(ほっとなまちづくり)の推進に向けて、連合町内会毎に、支援チームの一員として地区懇談会にケアプラザ職員が参加し、地区別計画推進の一助を担いました。
- (3) 『横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた 保土ヶ谷区行動指針』を踏まえた『地域包括ケア』関連事業として、介護予防、認知症支援、ケアマネジャー支援、権利擁護等を実施しました。但し新型コロナウイルス感染症の影響により活動内容の縮小及び変更を行いました。
- (4) 横浜国立大学(常盤台まちづくり応援団)と協働でワークショップを企画し、『羽沢横浜国大駅周辺地域のサインを考える』をテーマに年間3回開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により横浜国立大学はオンライン授業が続いており、制限の中での活動となりました。
- (5) 生活支援の仕組みづくりとして、常盤台地区『ありが隊』取組みを支援しました。7月にケアプラザ建物周辺の草木伐採をしていただきました。
- (6) 7月『七夕コンサート』10月『利用者発表会』3月『桜まつり』は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とさせていただきます。
- (7) 食品配布会を年4回開催して、各回150名程度の方に無料で食品をお配りしました。
- (8) 横浜保土ヶ谷中央病院と協力して研修医実習の受入れを実施しました。
- (9) 保土ヶ谷中学校生徒の皆さんがケアプラザ内に掲示するポスター制作をしてくださり交流を継続しました。
- (10) 居宅介護支援事業は緊急事態宣言期間前後について感染予防のため居宅訪問を自粛致しました。
- (11) デイサービスはアクリル板設置や消毒、換気等感染予防対策を行ったうえで実施しました。
- (12) デイサービス利用者と常盤台小学校3年生とのオンライン交流会を開催しました。
- (13) 事故・苦情については重大な事案は発生しませんでした(デイサービスにて尻もち転倒事故3件、居宅介護支援にてFAX誤送信1件)。事業所内にてヒヤリハット事例も含め内部検討して予防と再発防止に努めました。

＜令和4年度に向けた課題＞

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策の徹底。全ての事業において感染予防との両立を図る。
- (2) 『横浜型地域包括ケアシステムの構築』に向けた『保土ヶ谷区アクションプラン』の推進。
(地域ケア会議、多職種連携、介護予防・健康づくり、認知症支援、ケアマネジャー支援、権利擁護等)
- (3) 第4期 保土ヶ谷区地域福祉保健計画(ほっとなまちづくり)の推進。
- (4) 高齢者だけでなく、子育て世代や障がい者も含めた多様な地域住民に向けた事業展開。
- (5) 生活支援の充実。地域アセスメントに基づく見守り・支え合いの仕組みづくり。
- (6) ボランティアの発掘・育成と活動範囲の拡充。
- (7) 5職種連携の推進と地域課題の共有。
- (8) 『羽沢横浜国大駅』周辺地域におけるまちづくりの提案。
- (9) コンプライアンス対策の推進。苦情をきっかけとした施設運営の改善。
- (10) デイサービス感染予防対策と両立した運営及び実績の向上。
- (11) 介護支援専門員取り扱い実績の向上。
- (12) ケアプラザ全体としての経営状況の改善。

I. 地域包括支援センター事業

令和4年3月末現在

地域包括支援センターは、高齢者の皆様が住み慣れた地域でいつまでも充実した毎日を過ごすために総合的な相談・支援を行う機関であり、3職種がお互いに連携して日常生活の支援や様々の相談に応じています。事業内容は総合相談支援・権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント・介護予防ケアマネジメント自主事業を実施しています。各事業毎の実績は以下の通りです。

1. 総合相談・支援事業 (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

地域の高齢者等に対して面接、電話等による相談を実施し、必要な支援内容を把握するとともに、地域における適切な機関、制度、サービスの利用に繋げる等の支援を行うほか、相談者からの依頼を受けて必要がある場合に、相談者の自宅等を訪問し、安否確認、情報提供、各種福祉保健サービスの申請受付等に努めました。

(1) 総合相談事業実績 合計 1718 件 令和2年実績合計 988 件

利用方法別

分類		手段		時間帯	
新規	継続	面接	電話FAX・その他	9～17	17～21
327	1391	233	1485	1673	45
合計	1718 件	合計	1718 件	合計	1718 件

対象者別

65歳以上					40～64歳	
自立	二次予防対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
173	0	338	536	372	209	90

相談者別 合計 1730 件 (重複有り)

本人	家族	地域住民	サービス事業者	施設・医療	区社協	その他
190	678	67	520	133	3	139

相談内容別 合計 2214 件 (重複有り)

介護保険	介護予防事業	行政サービス	インフォーマルサービス	認知症	介護医療	施設入所入院	日常生活課題	苦情	成年後見	虐待	消費者保護	その他
1154	93	4	17	98	241	87	300	13	111	18	2	76

(2) 訪問事業実績 合計 25 件 ※令和2年度実績合計 91 件

利用方法別

分類		時間帯	
新規	継続	9～17	17～21
1	24	24	1
合計	25 件	合計	25 件

対象者別

65歳以上					40～64歳	
自立	特定高齢者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
1	0	7	9	8	0	0

援助内容別 合計 41 件 (重複有り)

安否確認 状況確認	介護・保健等 指導助言	申請受付		他機関等との サービス調整	情報提供	その他
6	7	0	0	17	7	4

2. 地域ケア会議

多職種による個別事例の検討を通じて地域課題を発見し、新たな資源開発につなげることを目的としているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送りました。

令和3年4月～ 令和4年3月	新型コロナウイルス感染症の影響で開催見送りました。	0人
合計		0人

3. 運営推進会議

地域密着型サービスの事業について提供しているサービス内容を利用者の家族や地域住民の代表者に明らかにし、地域と連携を図ることを目的とした会議です。

1月20日	新型コロナウイルス感染症の影響で各事業所から書面で報告を受けました。	13件
合計		13件

4. 権利擁護事業

福祉保健関係者とのネットワークを構築し、支援を要する方を早期発見し相談に繋げられるように体制を整備すると共に、研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送りました。

開催月	日付	内容	参加人数
令和3年4月～ 令和4年3月		新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送りました。	0人
合計		0回	0人

5. 認知症高齢者等SOSネットワーク

地域に住む認知症の方が万が一、行方不明時になった時になるべく早く見つかるよう関係機関で協力して、地域ぐるみの発見協力・見守りするネットワークです。

登録者数	登録人数
前年度までの登録者数(平成27年～令和2年)	45人
今年度の新規登録者数(令和3年～)	5人
現在の合計登録者数	50人

現在登録されている協力機関
特別養護老人ホーム「夢の里」、介護老人保健施設「スカイ」、デイサービス「セントケア保土ヶ谷」、横浜保土ヶ谷中央病院、リハビリデイサービス「ファイト」、特別養護老人ホーム「レジデンシャル常盤台」、特別養護老人ホーム「ラポール三ツ沢」

6. 包括的・継続的ケアマネジメント事業

地域における包括ケア体制の構築のために地域の介護支援専門員を対象とした専門家との相談会・研修会・意見交換会(ケアマネ連絡会、合同ケアマネ連絡会)を実施しています。また、地域の方々へ情報発信とは別に介護・医療セミナーを開催します。

(1) ケアマネ連絡会

(平成3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

開催月	内容	参加人数
6月	ケアマネジャー連絡会	27人
7月	ケアマネジャー連絡会	30人
11月	未開催	——
12月	未開催	——
1月	未開催	——
2月	未開催	——
3月	未開催	——
合計		57人

サービス担当者会議の開催支援や抱えている困難事例等への相談支援の実施。また新任・就労予定のケアマネジャーが円滑に業務が進められるよう、区単位で実習の受入調整・支援を実施しています。

(2)事例検討会 (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

開催月	内 容	参加人数
6月	事例検討会	26人
7月	事例検討会	30人
8月	事例検討会 未開催	—
9月	事例検討会 未開催	—
10月	事例検討会 未開催	—
11月	事例検討会	30人
12月	事例検討会 未開催	—
1月	事例検討会	16人
2月	事例検討会 未開催	—
3月	事例検討会	23人
合計		125人

包括圏域で業務を担当するケアマネジャーからの相談、スキルアップを目的に開催しました。

(3)ケアマネジャー相談支援 (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

	介護保険制度		一般行政制度			その他	相談件数 (合計)
	予防給付	介護給付	高齢関係	障害関係	保護関係		
4月	20	37	6	8	2	6	79人
5月	13	29	4	1	0	6	53人
6月	29	14	3	7	0	5	58人
7月	17	28	2	3	2	4	56人
8月	10	28	5	4	4	5	56人
9月	32	27	4	4	2	3	72人
10月	15	28	0	0	1	1	45人
11月	21	12	1	0	1	1	36人
12月	7	16	0	4	2	1	30人
1月	16	19	4	1	2	1	43人
2月	3	37	0	0	3	1	44人
3月	23	6	3	3	0	4	39人
合計	206	281	32	35	19	38	611人

(4)新任・就労予定ケアマネジャー研修 (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

	内 容	参加人数	
		1回目	2回目
	エリアに新人ケアマネジャー登録なし	0人	0人
合計		0人	0人

(5)介護者のつどい (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

介護をされているご家族を対象に介護に関する情報提供や医療に関する勉強会を開催し在宅生活の安定が図れる事を目的に開催しています。

開催月	内 容	参加人数
5月27日	懇談会・マッサージ事業所による「セルフケア」	8人
7月21日	施設見学・新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送りました	—
11月25日	「ときた内科クリニック」常田先生と交流会	6人
合計		14人

7. 介護予防ケアマネジメント事業 (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

要介護状態になることをできる限り防ぎ、要介護状態になっても状態がそれ以上悪化しないように支援をしました。

(1) 介護予防支援ケアマネジメント事業実績 (令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	14	4	6	9	10	9	7	13	9	4	7	7	99
継続	243	245	238	235	234	238	234	363	242	237	227	231	2967
合計	257	249	244	244	244	247	241	376	251	241	234	238	3066

	直接				委託				直接	委託	合計
	要支援1		要支援2		要支援1		要支援2				
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続			
4月	1	9	1	14	6	66	3	157	25	232	257
5月	0	9	0	14	1	66	3	156	23	226	249
6月	0	8	0	13	2	67	4	150	21	223	244
7月	0	8	0	11	5	68	4	148	19	225	244
8月	0	4	0	8	5	74	5	148	12	232	244
9月	0	4	0	7	2	79	7	148	11	236	247
10月	0	4	0	7	3	74	3	149	11	230	241
11月	0	3	0	7	3	73	7	228	10	366	376
12月	0	3	0	7	5	73	3	159	10	241	251
1月	0	3	0	7	6	73	3	159	10	231	241
2月	0	3	0	7	1	76	3	151	9	225	234
3月	0	2	0	8	2	74	5	149	8	230	238
合計	1	60	1	110	41	863	57	1902	169	2897	3066

(2) 介護予防事業 延人数(共催事業・自主活動グループなどへの支援も含む)

(令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

介護予防の普及啓発活動や地域からの情報提供、本人・家族からの相談等、様々な経路から情報収集を行い、要介護状態になる可能性が高い高齢者を早期に把握するよう努めました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、介護予防講座や活動支援を中止せざるを得ない時期はありましたが、自主化を目標とした新たな講座を実施するなど、健康づくり、介護予防に対する取り組みを行いました。

	日付	場所	実施内容	人数
きらきら長寿ときめき塾①	6月17日	常盤台地域ケアプラザ	ロコモ予防、口腔機能向上(オーラルフレイル)普及・啓発・実践支援	20人
きらきら長寿ときめき塾②	7月15日	常盤台地域ケアプラザ	口腔機能向上(オーラルフレイル)普及・啓発・実践支援 (歯科医師:小柳氏)	18人
きらきら長寿ときめき塾③	7月30日	常盤台地域ケアプラザ	オンラインによる低栄養予防、普及・啓発・実践支援 (講師:大塚製薬 管理栄養士)	18人
きらきら長寿ときめき塾④	8月5日	常盤台地域ケアプラザ	ロコモ予防・認知症予防、普及・啓発・実践支援 (運動講師:武川氏)	16人
オリジナルチャーム広報事業	9月1日	常盤台地域ケアプラザ	常盤台地域ケアプラザのシンボルマーク「ヘルキョー」をテーマに樹木のイラストを刺しゅうしたチャームを作成。販売時に広報活動を行った。 4月～5月実施。→9月より再開	212人
男性かがやき塾～コーヒー編～	11月より再開 (月1回開催)	常盤台地域ケアプラザ	シニア男性、またはご夫婦を対象に、コーヒーの淹れ方を学ぶ講座。男性の居場所づくり、活躍へのきっかけづくり。わがまち保土ヶ谷体操等も実施。4月～9月は新型コロナウイルスの影響で中止。10月より再開するが、まん延防止等重点措置のため2月・3月は中止。	27人
スクエアステップリーダー・フォローアップ講座	11月18日	常盤台地域ケアプラザ	講師からスクエアステップの楽しさを学ぶと共に、グループに生かす方法やリーダーの役割を指導。また、グループリーダー同士の交流の場として活用した。	18人
地域活動グループリーダー連絡会	12月2日、16日	常盤台地域ケアプラザ	運動系のグループにはPTより講義や実践を、サロンなどのリーダーにはSTよりコミュニケーションに関する内容を講義し、リーダーのモチベーションアップとグループの活性化を図った。	22人
アーティフィシャルフラワーアレンジメント	12月9日	常盤台地域ケアプラザ	講師より、アーティフィシャルフラワーアレンジメントを指導いただく。包括職員より認知症予防について説明し、保土ヶ谷体操を行った。	14人
やまゆりの会	1月25日	常盤台地域ケアプラザ	ノルディックウォーキング自主グループへの支援	14人
ときわステップ会	1月28日	常盤台地域ケアプラザ	スクエアステップ自主グループへの支援	5人
きらきら長寿ときめき塾in峰沢団地①	1月27日	常盤台地域ケアプラザ	ロコモ予防、認知症予防、普及・啓発・実践支援 (運動講師:武川氏)	15人
きらきら長寿ときめき塾in峰沢団地②	2月17日	常盤台地域ケアプラザ	口腔機能向上(オーラルフレイル)普及・啓発・実践支援 (歯科医師:小柳氏)	16人

きらきら長寿ときめき塾 in 峰沢団地③	2月24日	常盤台地域 ケアプラザ	低栄養予防、普及・啓発・実践支援 (資料提供:訪問薬師薬局 管理栄養士、講師:包括保健師)	16人
ときわ体操をつくる	3月22日	常盤台地域 ケアプラザ	かながわ健康財団の講師とともに、介護予防を目的とした常盤台地域ケアプラザのオリジナル体操をつくる準備を行った。	5人
春のフラワーアレンジメント(生花)	3月24日	常盤台地域 ケアプラザ	講師より、生花を使ったフラワーアレンジメントを指導いただき、包括職員より認知症予防について説明した上で、わがまち保土ヶ谷保健師から「わがまち保土ヶ谷体操」を説明し、参加者と実践しながらロコモ予防について啓発。感染対策のため屋外で開催した。	14人
青空体操	3月30日	常盤台地域 ケアプラザ	保健師から「わがまち保土ヶ谷体操」を説明し、参加者と実践しながらロコモ予防について啓発。感染対策のため屋外で開催した。	5人
合計				455人

8. 協力医による活動

定期的にケアプラザへ来所して頂き、地域活動交流・地域包括支援センター事業に関する協力をしていただいていたが、今年度も新型コロナウイルス感染症により実施できない状況が続きました。11月以降は可能な範囲で活動を再開しました。

開催日	区分	相談内容等	参加人数
4～9月		新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送りました。	0人
6月30日	包括	運営協議会への参加	23人
11月25日	包括	子育て広場(お医者様のおはなし)	10人
11月25日	包括	介護者のつどい(健康相談)	4人
12月20日	包括	地域活動交流・包括支援センター業務への協力	5人
12月24日	包括	クリスマスカフェへの参加、協力	21人
2月9日	包括	地域活動交流・包括支援センター業務への協力	35人
合計		6回	98人

9. 自主事業

(1) 出張講座等

(令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

地域ケアプラザ並びに地域包括支援センターの役割や、介護予防、各種制度の周知等に加えて、地域の高齢者の実態把握を目的に実施しています。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の期間が長く、地域会場の使用ができない状態でありましたが、10月以降、会場使用が可能となった地域では希望に応じた講座を開催することはできたが、活動を見合わせている地域も多くみられました。

開催日	内 容	場 所	参加人数
4～9月	新型コロナウイルス感染症の影響で見送りました。	——	0人
10月21日	介護保険についての説明会(民生委員向け)	岡沢町自治会館	13人
12月6日	ゆうゆうサロン	峰沢町岡沢町自治会館	21人
12月6日	常盤台北部サロン	常盤台北部自治会館	8人
12月15日	桜台エンジェルズ	桜台ハイツ集会所	18人
12月23日	きらり峰沢	峰沢団地集会所	9人
	合計 5回		69人

(2) キャラバン・メイト連絡会

(令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民(認知症サポーター)を一人でも多く増やすための普及啓発活動。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

開催日	内 容	参加人数
	新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。	——
合計	全0回	

(3) 認知症サポーター養成講座

(令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

認知症になっても安心して地域で暮らせるまちづくりをすすめていくパートナーとして認知症サポーターを養成しました。

開催日	場 所	参加人数
2月	保土ヶ谷中学校3学年	335人
3月	峰沢団地周辺の住民	18人
合計	全2回	353人

(4) ときわオレンジカフェ

(令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

認知症の人やその家族、認知症の事が気になる人、ボランティア、そして医療やケアの専門職などが気楽に集まり、生活上の悩みを聞き取る場所として開催しました。

開催	日付	内 容 (場所)	参加人数
令和3年	12月24日	Xmasカフェ+オレンジカフェ	38人
合計		全0回	38人

(5) Pi-Po-Wan(ピーポーワン)

(令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

毎日の愛犬との散歩の際に地域の高齢者を見守っていただくメンバーシップです。見守りの目を養成する為に認知症サポーター養成講座を開催し、同時にメンバー同士のつながりも出来るよう働きかけをしました。

ピーポーワン	登録者は毎日活動中です。	71人
合計	登録者数 71人(88匹)	71人

(6) Pi-Po-MaMa(ピーポーママ)

(令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

子育て中の方々に地域の高齢者を見守っていただくメンバーシップです。見守りの目を養成する為に認知症サポーター養成講座を開催しました。

ピーポーママ	子育て中の方々が高齢者の見守り活動中です。	2人
合計	登録者数	2人

(6)「オリジナルチャーム・ロゼッタ」創作・販売

(令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

常盤台地域ケアプラザのシンボルマーク、ヘルキー「ときわの森」をテーマに樹木柄のオリジナルチャーム・ロゼッタを職員手作りで販売致しました。販売の際に地域ケアプラザのチラシ等を添え、ケアプラザの広報活動も兼ねました。販売当日の完売もあり、子育て世代にもケアプラザを周知するきっかけになっています。令和3年4月～令和4年3月、合計212個(1個100円)売り上げは全額、日本赤十字社へ募金しました。

(7) 病院連携

(令和3年4月～令和4年3月末日迄の実績)

近在の横浜保土ヶ谷中央病院など医療機関と連携し、健康講座を行う事業ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

	新型コロナウイルス感染症の影響で講座実施は中止しましたが、個別ケースの日常連携は継続しました。	0人
合計	全0回	0人

10. まとめ、その他

・新型コロナウイルス感染症の影響により、相談業務は現在まで9時～17時とさせていただきます。17時以降は転送電話にて対応しました。

II. 地域活動・交流事業

令和4年3月末現在

本年度の地域活動事業は、地域の福祉・保健活動の活動が活性化できるように、プラザが行う自主事業・共催事業を開催し、地域のボランティア団体・自治会との連携を図りました。地域の福祉保健活動団体への部屋利用促進も図りました。

(1) 自主事業・後方支援事業実施報告

事業名	実施日	講師など	参加者	内容
ときわの森 子育て広場	毎月第4木曜日	イベント時は外部 講師を依頼する	56 (7回)	4月お絵描き・認知症って何？、5月・6月講師を変えての音楽遊び、11月パラバルーンとお医者様の話し、令和4年2月・3月ミニコンサートを開催。2月は子育て支援サポートシステム説明会一緒に開催。7月・8月・9月・10月はまん延防止重点期間のため中止とした。
ときわの森 らくらくストレッチ体操教室	毎月1回月末頃	緑川真紀子氏	152 (10回)	無理なく、安全に椅子に座ってストレッチを行う。講師の楽しい会話を交えながら、わかりやすい動作を行う体操教室。 4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、令和4年1月、2月、3月に開催した。
ときわの森 美と健康体操	毎月第1・3水曜日	仲保裕美子氏	197 (20回)	体幹トレーニング・筋力アップストレッチ・骨盤調整・姿勢分析などを少しづつ取り入れて、新しい講師により美しい姿勢を保つ事を意識しながら行う。原則毎月第1・3水曜日開催した。
ときわの森 パン教室&和菓子教室	令和3年4月10日・5月8日・ 7月10日・12月11日(予定) ・令和4年2月12日(予定) 土曜日	松尾恭子氏	24 (4回)	3月プチパン、5月クリームパン、7月コッペパン、12月クリスマスメニューの特別企画。第2土曜日に開催した。
ときわの森 音と音楽で遊ぼう	毎月第1水曜日	有富正子氏	61 (9回)	音楽療法のできる講師を招いて、発達の統合調整を行う。原則毎月第1水曜日開催4月・5月・6月・7月・8月・9月・12月・令和4年1月・2月・3月に開催した。
園芸ボランティア活動	毎月第3月曜日	コミュニティハウス 共催	49 (10回)	2階の共有部分の中庭や花壇の整備をボランティアが中心となって季節の花などを定期的に植えていく8月のみ中止で毎月第3月曜日に開催した。
ときわの森 おもちゃ病院	毎月第2土曜日	宮本幸志氏 田名綱元良氏	38 (10回)	壊れたおもちゃを持ってきてもらい、地域のボランティアに修理をしてもらう。原則毎月第2土曜日開催した。
幼稚園ママに幼稚園こと聞い ちゃおう！	令和3年6月10日(木)	保土ヶ谷区子育て支援 拠点こころ	18 (1回)	子育て支援拠点こころの協力を得て、幼稚園のホームページや説明会ではわからない事を経験者の生の声を直接聞いて入園時の参考にしていく。6月10日実施した。
子どもクッキング バナナパ フェを作ろう	令和3年7月30日(金)	コミュニティハウス 共催	5 (1回)	小学3年～6年生を対象にバナナパフェ作りを予定している。短時間で簡単に調理できるものを体験して交流図る。7月30日実施した。
ときわの森 親子で楽しむクリスマス会	令和3年12月4日(土)	佐藤亜紀氏	26 (1回)	クリスマスにちなんだ内容を企画し、ボランティアがクリスマスの飾り付けをし、ケアプラザ職員がサンタクロースに扮して、手作りのプレゼントを子どもに渡す。
無料食品配布会	偶数月第2金曜日	NPO法人ちゃっと NPO法人ぎんがむら	530 (5回)	フードバンクかながわより提供を受けて、賞味期限間近の食品や日用品を4・5点まとめて、地域の方々へ無料で配布する。地域活動支援「陶」による手作り革製品や陶器などの販売会も4月・6月・10月・12月に開催した。
ときわの森読者の時間	毎月第1・2・3月曜日		1 (26回)	ケアプラザの図書や好きな本を持ってきてもらい静かに読書を楽しむ。毎月第1・2・3月曜日に開催した。

(2)他ケアプラザとの共催事業

事業名	実施日	参加者	内容
ほっとフレンズ 2021秋	令和3年10月	(0回)	保土ケ谷区7ケアプラザが合同で開催している障害児の余暇支援事業。仏向地域ケアプラザで開催。新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止とした。
ほっとフレンズ 2022春	令和4年3月	(0回)	保土ケ谷区7ケアプラザが合同で開催している障害児の余暇支援事業。常盤台地域ケアプラザで開催予定だったが中止とした。

(3)後方支援事業

事業名	実施日	参加者	内容
だいこんくらぶ・料理教室	毎月第3 火曜日	(0回)	毎月1回ケアプラザにて料理教室を開催しイベント時のボランティア活動につなげている。新型コロナウイルス感染拡大の影響で今年度は休止している。
つるし雛 ときわ会	毎月第2・4 金曜日	77 (15回)	自主事業「今日から始めるつるし雛」より自主グループで活動して利用者発表会での作品展示に参加。新型コロナウイルス感染拡大の影響で作品展中止の予定。
お楽しみ手芸教室	毎月第4 土曜日	5 (2回)	ボランティアの協力のもと木目込み人形作成している自主グループ、利用者発表会での作品展示に参加。新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月～9月は開催なし
韓国語教室・じゃんけんぼん	毎月第2・4木曜日	132 (42回)	第1回韓国語講座からの自主グループ。横浜国立大学留学生講師に招いて韓国語を学ぶ。
韓国語教室・アンニョン	毎月第1・3火曜日	234 (24回)	第2回韓国語講座からの自主グループ。横浜国立大学留学生講師に招いて韓国語を学ぶ。
ダンスクラブ	原則毎月第1.2.3月 曜	421 (36回)	ケアプラザ事業から発展して自主グループとなりジャズダンスを練習、イベントやデイサービスでのボランティア活動につながっている。
ヨーガ教室	第1・3金曜日	491 (23回)	ヨーガの基本的なポーズとストレッチを専門講師の指導のもと年代を問わず無理なく運動を進めていく。

(4)広報誌の発行

自治会の掲示版を利用し、プラザ事業の広報・情報発信を目的に広報誌「ときわの森」を発行しました。

発行回数 毎月発行 発行部数(掲示板のみ) 約600部

・常盤台地域ケアプラザホームページにてご覧いただけます。

・常盤台連合町内会及び保土ケ谷区社会福祉協議会のホームページにリンクしています。

(5)貸し館状況(参考)

活動休止していた団体(体操・ヨガ・ストレッチ等)が新型コロナウイルス感染症の予防対策実施して活動再開されたため、利用件数・稼働率が増加しました。

R3年度	延べ利用件数				合計
	4月～6月 第1四半期	7月～9月 第2四半期	10月～12月 第3四半期	1月～3月 第4四半期	
多目的ホール	123件	92件	124件	92件	431件
調理室	6件	3件	11件	4件	24件
ボランティアルーム	52件	24件	50件	40件	166件
地域ケアルーム	59件	45件	59件	65件	228件
合計	240件	164件	244件	201件	849件

R2年度	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
多目的ホール	15件	93件	120件	85件	313件
調理室	0件	6件	13件	7件	26件
ボランティアルーム	3件	6件	17件	5件	31件
地域ケアルーム	4件	24件	51件	24件	103件
合計	22件	129件	201件	121件	473件

稼働率 (令和2年4月～令和4年3月)

R3年度	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	平日	土曜日	日祝	平日	土曜日	日祝	平日	土曜日	日祝	平日	土曜日	日祝
多目的ホール	44.0%	23%	18%	37%	10%	4%	46%	23%	11%	37%	8%	9%
調理室	1%	8%	0%	1%	2%	0%	3%	8%	0%	2%	0%	0%
ボランティアルーム	21%	6%	2%	10%	2%	0%	21%	4%	0%	16%	8%	0%
地域ケアルーム	22.0%	12%	6%	18%	4%	4%	23%	6%	4%	26%	10%	4%
曜日別稼働率	21.8%	12%	7%	17%	5%	2%	23%	10%	4%	20%	7%	3%

稼働率 (平成31年4月～令和2年3月)

R2年度	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	平日	土曜日	日祝	平日	土曜日	日祝	平日	土曜日	日祝	平日	土曜日	日祝
多目的ホール	18%	0%	25%	57%	15%	7%	52%	31%	17%	42%	18%	10%
調理室	0.0%	0%	0%	0%	15%	0%	0%	31%	2%	0%	18%	2%
ボランティアルーム	0%	0%	25.0%	1%	0%	7%	4%	0%	17%	0%	0%	10%
地域ケアルーム	6%	0%	0%	16%	0%	0%	27%	0%	0%	14%	0%	0%
曜日別稼働率	6%	0%	13%	19%	8%	4%	21%	15%	9%	14%	9%	6%

(6) ボランティア関係

- ・園芸ボランティア活動として花壇やときわガーデンの整備やケアプラザ花壇整備にご協力いただきました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、デイサービスでのボランティア活動を休止しました。

・ボランティア活動(団体)

団体名	活動内容	回数
フレンドコスモス	デイサービスでの大正琴の演奏会及びイベントへの参加	0回
ときわコーラス	イベント及びデイサービスでの季節ごとに歌の披露	0回
趣味の会	デイサービスでの日本舞踊・フラダンス・歌の披露	0回
園芸ボランティア	施設内・外の花壇の整備と花植え・イベントでの寄せ植え販売	10回
ほどがや えかたりーべ	デイサービスにて地域の民話などの紙芝居	0回
横浜国立大学吹奏楽団	デイサービスでのミニ演奏会	0回
フルートアンサンブル「クバゼミゾン」	デイサービスの演奏	0回
沖縄少林寺流空手道研究会	デイサービスでの披露	0回

なるこ踊り・なるこ会	デイサービスでの演奏会	0回
保土ヶ谷中学校	保土ヶ谷中学の生徒が作成した新型コロナウイルスに関するポスターをケアプラザ館内に掲示をした。	0回

ボランティア活動(個人)

事業名	活動内容	登録者	回数
デイサービスでの活動	話し相手・ドライヤーかけ・レクリエーション補助・準備・片付け	1名	59回
デイサービス紙芝居ボランティア	地域で昔から活動されている。主に紙芝居を披露	1名	0回
子育て広場	自主事業レクリエーション補助及び子どもの見守り水遊びでの見守り	5名	7回
音と音楽で遊ぼうボランティア	発達にかたよりのあるお子さんの見守り	1名	9回
和菓子&パン教室	自主事業和菓子&パン教室のお手伝い	1名	4回
子どもクッキング	常盤台コミュニティハウスと共催バナナパフェ作りを寺子屋塾で行う	1名	1回
おもちゃ病院ボランティア	子育て広場開催時に壊れたおもちゃを原則無料で修理	2名	10回
ときもり倶楽部	高齢者を対象にした交流会	1名	31回

・ 関係機関との連絡会等

会議名	目的	開催日
保土ヶ谷区内コーディネーター連絡会	保土ヶ谷区7ケアプラザのコーディネーター同士の情報共有・知識・意識の向上を図り地域活動につなげていく	毎月第2水曜日
常盤台エリア子育て支援連絡会	常盤台地域ケアプラザエリアの子育て支援者及び実務者のネットワークの作り	6月4日
横浜市要保護児童対策協議会	保土ヶ谷区実務者による要保護児童等の早期発見や保護や支援を図るための情報交換と事例通じて検討する	

(7)まとめ、その他

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により4月途中から9月末に至るまで施設閉館を20時と時間短縮させていただきました。
※10月から21時閉館に変更。また、部屋利用人数や活動内容を一部制限させていただきました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、受付の亚克力シート設置、来館者のマスク着用、入口での手指消毒、入口での体温計測、来館者記録の記入、館内の換気、貸室の換気や使用後の消毒等を継続し実施しました。

Ⅲ. 生活支援体制整備事業報告

令和4年3月末現在

生活支援体制整備事業とは、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、多様な主体による多様な支援の提供体制を構築し、生活支援・介護予防の充実した地域づくりに取り組んでいく事業です。
地域や個別のニーズ・地域資源の把握・分析し、資源開発とさまざまな機関とのネットワーク構築、ニーズと取組のマッチングを行います。

(1) 地域特性や資源・ニーズの把握・分析

- ・地域活動等の社会資源、地域課題の把握、ネットワーク構築を目的として、地域主催のサロン・趣味活動・体操教室等の地域活動や地域の課題を出し合う場・共有検討の場である会合等に参加しました。
- ・ケアプラザエリア内4連合地区での活動、会合に参加し、地域住民と顔の見える関係作りに努めました。
- ・ケアプラザ自主事業（地域包括支援センター、地域活動・交流事業）参加者、利用者から直接声を聞き、ニーズ調査し現状把握に努めました。さまざまな情報を基に地域支援、自主事業開催に繋げました。
- ・地域主催のサロン・趣味活動・体操教室等、地域活動の情報をAyamu(地域活動・サービスデータベースシステム)に集約しました。令和4年度には各団体に公開の意向確認を行い、集約した情報を『ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ』にて公開する予定です。

		活動	会合
令和3年	4月	0回	2回
	5月	1回	2回
	6月	2回	6回
	7月	1回	2回
	8月	1回	2回
	9月	0回	1回
	10月	2回	5回
	11月	4回	3回
	12月	6回	6回
令和4年	1月	3回	5回
	2月	5回	2回
	3月	3回	3回
	合計	28回	39回

※新型コロナウイルスの感染拡大を受け地域主催会議や活動が休止となりました。
再開状況に応じて、参加させていただいています。

(会合)

中央東部地区懇談会(峰沢町岡沢町自治会館)、
常盤台地区連合町内会定例会、ほつとなまちづくり推進委員会(ケアプラザ・WEB)、
和田・釜台地区たまり場/HO運営委員会(和田東部自治会館)、
その他、集いの場や生活支援の仕組みづくり等の検討会合 等

(2) 情報発信・ネットワーク構築

- ・地域活動や会合・ケアプラザ事業参加者、生活支援コーディネーターパンフレット等を活用した事業の説明、広報紙「ときわの森」に記事掲載を行い活動報告を行いました。
- ・区域を越えて隣接した地区、大学、行政と連携を図りました。ワークショップには羽沢地区の方にも参加いただき、地域の魅力などを再確認しながら交流をはかりました。また地域への愛着を育てる取組として、羽沢横浜国大駅周辺のサインづくりに向けて支援させていただきました。
- ・郵便局や薬局の協力を得て、一角にケアプラザのコーナーを設け、広報紙やチラシを置かせていただきました。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、各地区での活動が休止する状態となりました。活動状況を地域の方に電話等でお聞きしたり、活動休止中や再開に向けての参考資料等を情報提供させていただきました。

(3) 自主事業実施報告(共催事業を含む)

事業名	実施日	講師など	参加者	内容	共催
ワークショップ	6月12日、11月6日、2月19日	横浜国立大学	118人 (3回)	地域住民と学生が話し合い、住みやすい街づくりについて検討する。羽沢横浜国大駅周辺のまちの情報を見える化・サインづくりに向けて検討。9月は新型コロナウイルスの影響で中止。2月は会場とZOOMのハイブリッド方式で開催した。	常盤台まちづくり応援団
喫茶ときわだい 青空体操プラス	4月14日	杉山 輝義氏	22人 (1回)	保健師より介護予防体操の紹介を行い、シニア男性ボランティアが技術を活かしドリップコーヒーを地域住民に提供する。感染症対策のため、屋外で開催した。	地域包括支援センター
男性かがやき塾～コーヒー編～	月1回 基本第2水曜	杉山 輝義氏	27人 (4回)	シニア男性、またはご夫婦を対象に、コーヒーの淹れ方を学ぶ講座。男性の居場所づくり、活躍へのきっかけづくり。4月～9月、2～3月は新型コロナウイルスの影響で中止した。	地域包括支援センター
シャキトレ!	月1回 基本第1木曜 (8月は休み)	福吉 良子氏	127人 (8回)	講師に学びながら、ロコモ予防の体操を行う。また、生活に取り入れられる運動を学ぶ。グループの自主化を目指して支援する。7月は台風の影響により中止。	地域包括支援センター
Let'sフラ♪	月1回 基本第3水曜	1回目斎藤 晃子氏、2回目以降寺田 まり子氏	76人 (9回)	講師に学びながら、フラダンスを行う。グループの自主化を目指して支援した。	地域包括支援センター
ゆるのび運動	月2回 基本第2・4木曜	講師無し	56人 (13回)	生活に取り入れられる体操を学び、楽しみながら実践する運動。7月と8月は天候により中止した。	地域包括支援センター
スクエアステップリーダー・フォローアップ講座	11月18日	村井 キヌエ氏	18人 (1回)	講師からスクエアステップの楽しさを学ぶと共に、グループに生かす方法やリーダーの役割を指導する。また、グループリーダー同士の交流の場として活用する。	地域包括支援センター
地域活動グループリーダー連絡会	12月2日、12月16日	1回目 林野 翔太氏 2回目 山下 皓司氏	22人 (2回)	運動系のグループにはPTより講義や実践を、サロンなどのリーダーにはSTよりコミュニケーションに関する内容を講義し、リーダーのモチベーションアップとグループの活性化を図った。	地域包括支援センター
楽しくコグニサイズ	3月10日	市野瀬 厚氏	8人 (1回)	地域のサロンや活動グループ支援の一環として、楽しみながら健康づくりや仲間づくりができるよう、コグニサイズの普及・啓発を行う。2回コースで開催を予定していたが、2月は降雪のため中止。	地域包括支援センター
アーティフィシャルフラワーアレンジメント	12月9日	横澤 千佳子氏	14人 (1回)	講師より、アーティフィシャルフラワーアレンジメントを指導いただいた。包括職員より認知症予防について説明し、わがまち保土ヶ谷体操を行った。	地域包括支援センター 地域活動交流
春のフラワーアレンジメント(生花)	3月24日	小川 洋子氏	14人 (1回)	講師より、生花を使ったフラワーアレンジメントを指導いただいた。また、包括職員より認知症予防について説明し、わがまち保土ヶ谷体操を行った。	地域包括支援センター 地域活動交流

※新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数の制限を行いました。

(4) 5職種連携

地域包括支援センター、地域活動・交流事業と連携し、情報の共有を行うとともに相互の情報を基に分析し、支援体制の構築に向けて検討を行いました。

○地域活動の継続支援

・・・地域包括支援センターと連携し、地域活動状況を確認させていただきながら情報提供を行いました。

○ボランティア・担い手発掘育成

・・・男性の社会参加の場、活躍の機会づくりとして開催している「男性かがやき塾～コーヒー編～」を昨年度に引き続き企画しました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4月～9月、2月～3月は活動を中止しました。

・・・地域アセスメントを基に、新たな担い手の発掘、地域活動者の支援のため講座を開催しました。遠方でケアラザに通うことが難しい方々が参加する自治会館での体操教室やサロンでも実施しやすい内容を取り入れました。また、今後の担い手候補になる方へ向けての意識づけ、近隣地域の方との横の繋がりを作りに向けて支援しました。

○地域情報収集

・・・これまでに連携して集めた情報を基に、担当エリア内の健康づくり・サロン等の地域活動をリスト化し「きらりシニアマップ」を作成しました。

また、並行して現在情報提供のフォーマットを市内全体で統一し発信できるように取組を進めています。

(5)協議体

・生活支援・介護予防・社会参加に関わる活動の継続・発展、新たな課題解決に向けて具体的な企画立案を行う場のこと。

- ・多様な主体間の情報共有・連携体制づくり
- ・地域の課題を話し合う場
- ・取組に向けた具体的な意見交換の場

名称	地区	実施日	参加者	内容
常盤台ささえあいネットワーク「ありが隊」	常盤台	12月18日	11人 (1回)	支え合いの仕組みづくりに向けての検討
たまり場/HO運営委員会	和田・釜台	4月21日、6月16日、8月18日、10月20日、12月15日、2月17日	60人 (6回)	たまり場内容充実と担い手確保に向けて等の検討

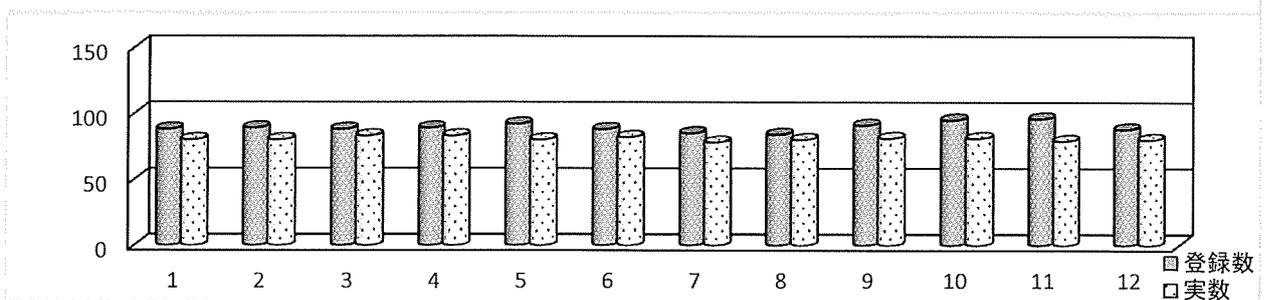
生活支援・介護予防・社会参加に関わる新たな課題解決に関連する為、地域の自主的な話し合いの場を協議体と位置付けました。

IV. 居宅介護支援事業

1. サービス利用者数

令和4年3月末日現在の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	88	89	88	89	92	88	85	84	91	95	96	88	1073
実数	80	80	83	83	80	82	78	80	81	81	79	80	967
割数	90.9%	89.9%	94.3%	93.3%	87.0%	93.2%	91.8%	95.2%	89.0%	85.3%	82.3%	90.9%	90.1%
前年実数	82	86	86	84	85	79	79	79	82	77	77	77	973

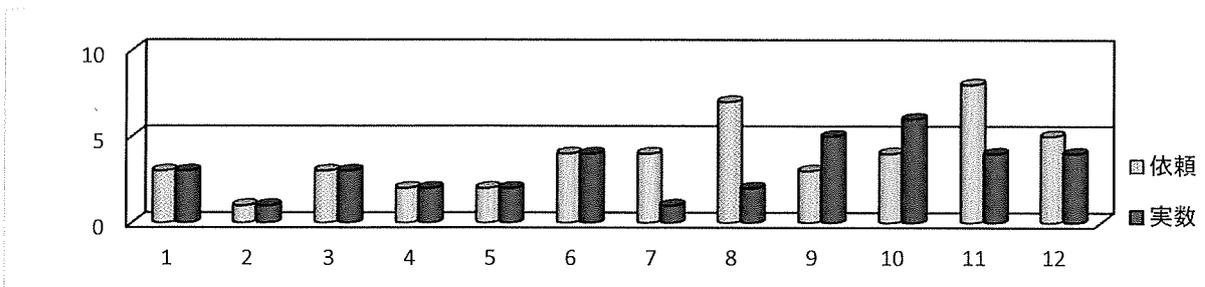


2. 新規サービス開始

令和4年3月末日現在の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
依頼	3	1	3	2	2	4	4	7	3	4	8	5	46
実数	3	1	3	2	2	4	1	2	5	6	4	4	37
割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%	28.6%	166.7%	150.0%	50.0%	80.0%	100.0%

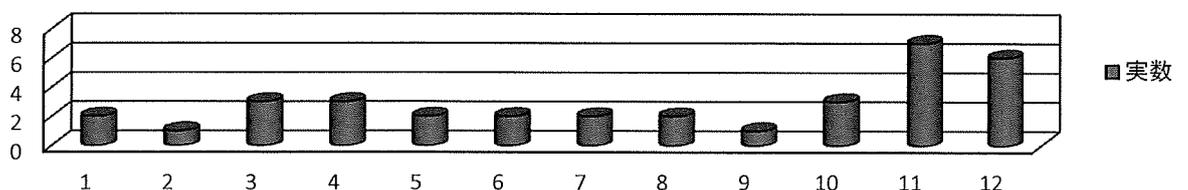
担当件数は、介護給付40件未満とする。入院・入所者等の状況に合わせて件数を調整する。



3. サービス利用中止

令和4年3月末日現在の実績

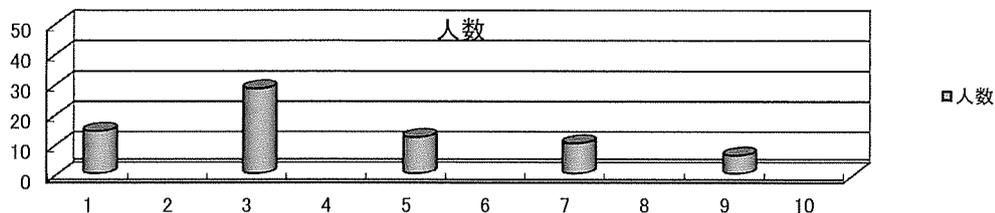
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	88	89	88	89	92	88	85	84	91	95	96	88	1073
実数	2	1	3	3	2	2	2	2	1	3	7	6	34



4. 介護度別実績

令和4年3月末日現在の実績

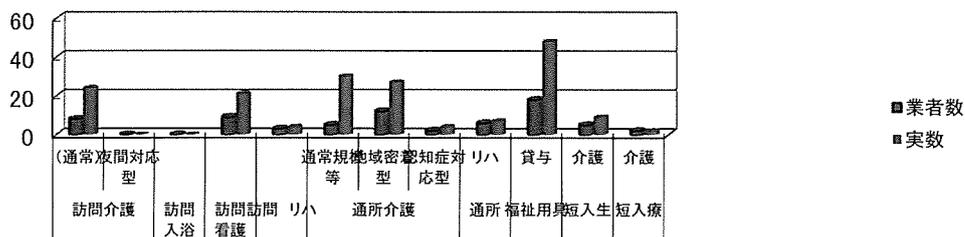
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
合計	15	29	13	11	7	75



5. サービス種類別分布

令和4年3月末日現在の実績

	訪問介護		訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	通所介護			通所リハ	福祉用具貸与	短入生介護	短入療介護	合計
	(通常)	夜間対応型				通常規模等	地域密着型	認知症対応型					
業者数	8	0	0	9	3	5	12	2	6	18	5	2	70
実数	24	0	0	21	4	30	27	4	7	48	9	2	176
割合	13.6%	0.0%	0.0%	11.9%	2.3%	17.0%	15.3%	2.3%	4.0%	27.3%	5.1%	1.1%	100.0%



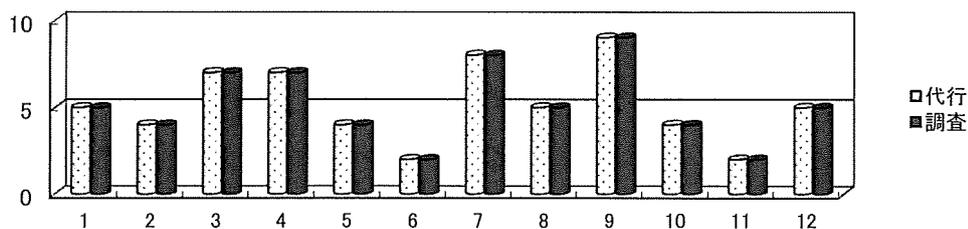
6. 認定調査申請代行件数・認定調査実施件数

令和4年3月末日現在の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
代行	5	4	7	7	4	2	8	5	9	4	2	5	62
調査	5	4	7	7	4	2	8	5	9	4	2	5	62

(前年度の認定調査件数 合計17件)

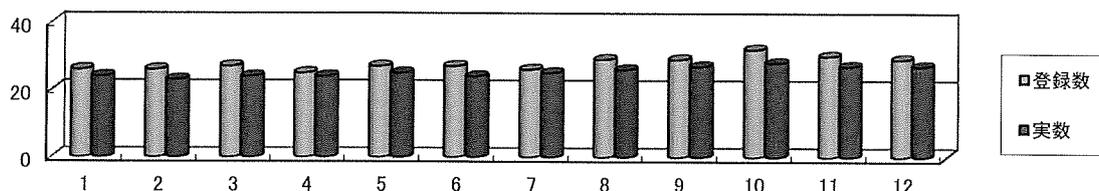
申請代行は、担当している件数+区分変更などの依頼分。認定調査は実際に調査した件数。



7. 介護予防利用者実績

令和4年3月末日現在の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	26	26	27	25	27	27	26	29	29	32	30	29	333
実数	24	23	24	24	25	24	25	26	27	28	27	27	304
割合	92.3%	88.5%	88.9%	96.0%	92.6%	88.9%	96.2%	89.7%	93.1%	87.5%	90.0%	93.1%	91.3%
前年度実数	15	18	18	17	19	19	20	19	20	22	22	24	233



【事業実施概要・考察】

- 特定事業所加算Ⅲを算定しています。
(特定加算要件)
 - ① サービス提供の為の留意事項に係る伝達等を目的とした概ね週1回の定期会議実施
 - ② 24時間連絡、相談体制の確保
 - ③ 計画的な研修実施
 - ④ 地域包括から紹介の困難事例に対応
 - ⑤ 地域包括等が実施する事例検討会等に参加
 - ⑥ 運営基準、特定事業所集中減算の適用を受けていない
 - ⑦ ケアマネ一人当たりの担当平均件数40件未満
 - ⑧ ケアマネ実務研修に協力
 - ⑨ 他の法人が運営する居宅介護支援事業所と共同で事例検討会、研修会等を実施

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言期間中は居宅訪問を避けて、電話によるモニタリングを中心に行いました。○サービス利用者数は要介護者が約0.1%減少(6名減)、要支援者が約30%増加(71名増)致しました。
要支援者の増加が際立っています。今後は要介護者を増やすよう努めてまいります。

V a. 通所介護事業

令和4年3月末現在

本年度は、利用者一人ひとりに合わせたきめ細かいケアの実現と、レクリエーションや機能訓練のプログラムの充実を目標に事業運営を行いました。
通所介護事業所として、介護予防の対象の方には、これからも要介護状態にならないように又、要介護状態の方にも、今の身体状態を維持・向上できるように援助するとともに、地域に居住している高齢者としての交流の場・ゆとりのある入浴・きめ細やかな食事の提供・住み慣れた地域の中でいつまでも自分らしく生活できるように、介護支援専門員との調整を行いサービス提供を行いました。

1 利用実績 (令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日までの実績)

	予防	介護	全体
総利用人数	565名	5570名	6135名
総可動日数	308日	308日	308日
平均利用者人数	1.8名	18名	19.9名

2 申し込み状況 (延べ件数)

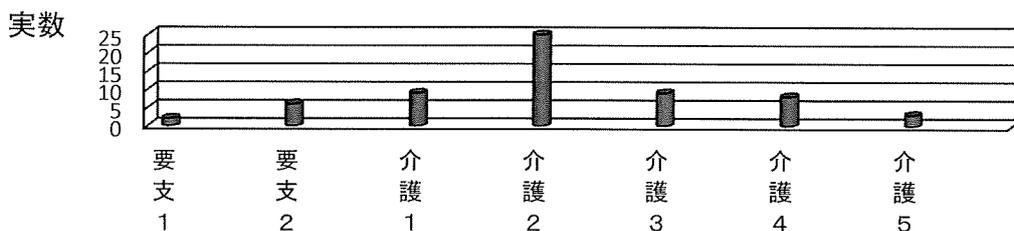
申し込み件数 23件 (内訳:介護 17件 予防 6件)

中止件数 24件 (内訳:介護 22件 予防 2件)

理由 ①入所 14件 ②体調不良 4件 ③逝去 4件 ④私用 2件

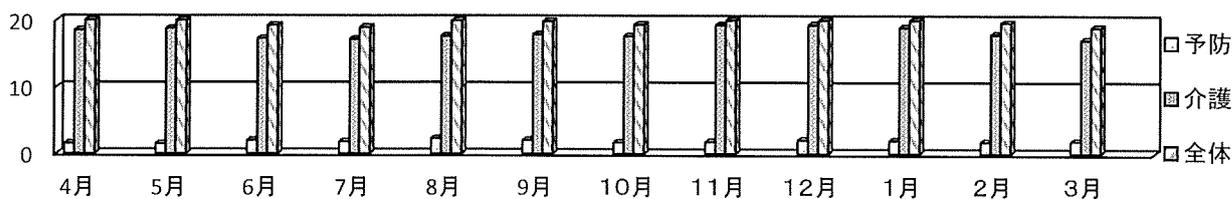
3 要介護度別利用人数と割合

	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
登録	2名	6名	9名	26名	9名	8名	3名	63名
実数	2名	6名	9名	26名	9名	8名	3名	63名
%	3.2%	9.5%	14.3%	41.3%	14.3%	12.7%	4.8%	100.0%



4 月別延べ利用人数と一日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
予防	39	38	51	48	59	52	46	44	49	47	42	50	565名	延予防
介護	481	488	449	463	459	464	476	482	464	454	429	461	5570名	延介護
全体	520	526	500	511	518	516	522	526	513	501	471	511	6135名	延全体
日	26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308日	実施日数
予防	1.5	1.5	2.0	1.8	2.3	2.0	1.7	1.8	2.0	2.0	1.8	1.9	1.83名	1日平均
介護	18.5	18.8	17.3	17.1	17.7	17.8	17.6	19.3	19.3	18.9	17.9	17.1	18.1名	1日平均
全体	20.0	20.2	19.2	18.9	19.9	19.8	19.3	21.0	21.4	20.9	19.6	18.9	19.9名	1日平均
前年人数	606.0	585.0	610.0	583.0	561.0	538.0	567.0	497.0	486.0	442.0	452.0	537.0	6464名	延全体

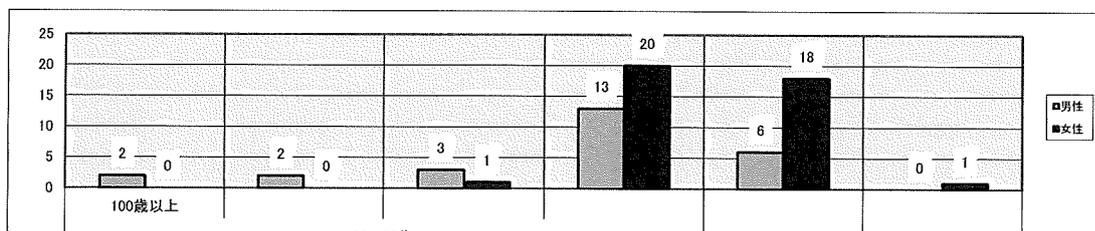


5 町別利用者数 (登録者63名の内訳)

1	常盤台	16名	7	岡沢	6名	13		名
2	和田町	8名	8	峰岡	2名	14		名
3	上星川	6名	9	峰沢	4名	15		名
4	羽沢南	4名	10	川辺	1名	16		名
5	釜台	10名	11	坂本	1名	17		名
6	鎌谷	5名	12	東川島	0名	合計		63名

6 利用者平均年齢

	男性	女性		男性	女性
最高年齢	96歳	106歳	45～59歳	2名	0名
最低年齢	53歳	77歳	60～69歳	1名	0名
平均年齢	80.1歳	89.6歳	70～79歳	5名	1名
全体の平均	86歳		80～89歳	12名	22名
人数構成	24名	39名	90～99歳	4名	15名
			100歳以上	0名	1名



7 依頼居宅支援事業者 (総件数 63件の内訳)

他事業所 39 (18事業所) 自事業所 24 (包括0件)

8 行事

4月	誕生会・レクリエーション	10月	誕生会・レクリエーション
5月	誕生会・レクリエーション	11月	誕生会・レクリエーション
6月	誕生会・レクリエーション	12月	誕生会・レクリエーション
7月	誕生会・レクリエーション	1月	誕生会・レクリエーション
8月	誕生会・レクリエーション	2月	誕生会・レクリエーション・常小ZOOM交流会
9月	誕生会・レクリエーション	3月	誕生会・レクリエーション

育和幼稚園交流会中止・園遊会・夏祭り・運動会 中止

9 まとめ

○令和3年度の延べ利用人数は、前年対比で通所介護は約0.5%減(329名減)。認知症対応型通所介護は約50%増(266名増)となっています。今年度は認知症対応型通所介護の新規ご利用者様が3名増えた為、増加率が上昇しました。しかしながら、全体としては前年よりも延べ利用者数が減少しており、前年に引き続き収支マイナスです。経営状況の改善が求められています。

○アクリル板によるテーブル席の個別間仕切り、デイルーム内消毒、換気等、新型コロナウイルス感染症対策を行いました。

○新型コロナウイルス感染症対策として、音楽レクリエーション中止。個別レク(カラオケ)中止。団体ボランティアさん受け入れ中止とさせていただきました。また、夏祭りや敬老交流会等のイベントも中止とさせていただきました。

○保土ヶ谷中学校生徒さんによるポスターを掲示しました。

○9月、10月、3月にご利用者の尻餅転倒される事故が発生しました。幸い大きな怪我はありませんでしたが、再発防止に努めてまいります。

○常盤台小学校3年生とのズームによるオンライン交流会を開催しました。歌やクイズなどで楽しい時間をもちました。

Vb. 認知症対応型通所介護事業

令和4年3月末現在

本年度は、利用者一人ひとりに合わせたきめ細かいケアの実現と、レクリエーションや機能訓練のプログラムの充実を目標に事業運営を行いました。

認知症対応型通所介護(みどりデイサービス)については、個別レクリエーションの充実と職員の認知症ケアに対する理解とスキルアップのための研修に力を入れました。

1 利用実績 (令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日までの実績)

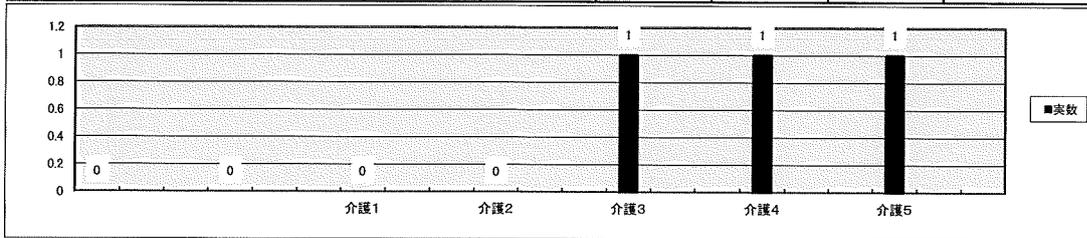
	認知
総利用人数	816
総可動日数	308日
平均利用者人数	2.6名

2 申し込み状況 (延べ件数)

申し込み件数	2件
中止件数	3件
理由	①逝去 2件 ②入所 1件

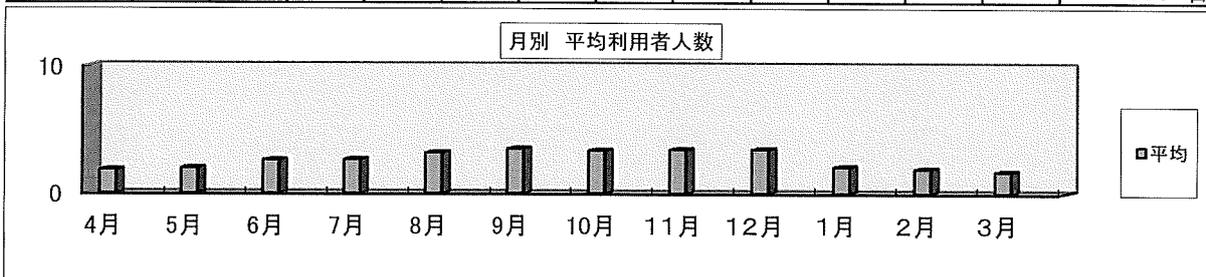
3 要介護度別利用人数と割合

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
登録	0名	0名	1名	1名	2名	4名
実数	0名	0名	1名	1名	1名	3名
%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	100.0%



4 月別延べ利用人数と一日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者	48	52	68	72	83	91	91	86	83	50	46	46	816名
実施日数	26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308日
平均利用	1.8	2.0	2.6	2.7	3.2	3.5	3.4	3.4	3.5	2.1	1.9	1.7	2.60名
前年延利用者	57	50	74	68	71	52	42	36	34	21	16	29	550名

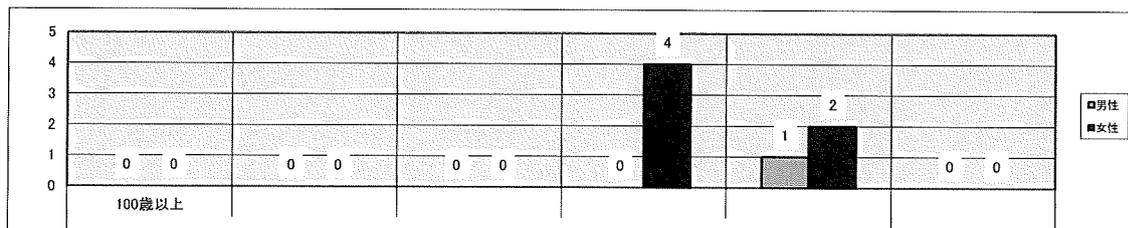


5 町別利用者数 (登録者4名の内訳)

1	常盤台	4名
2		
3		
4		
5		
6		
	合計	4名

6 利用者平均年齢

	男性	女性		男性	女性
最高年齢	歳	96 歳	50～59歳	0 名	0 名
最低年齢	歳	84 歳	60～69歳	0 名	0 名
平均年齢	歳	88 歳	70～79歳	0 名	0 名
全体平均	88歳		80～89歳	0 名	3 名
人数構成	0 名	4 名	90～99歳	0 名	1 名
			100歳以上	0 名	0 名



7 依頼居宅支援事業者 (総件数 4件の内訳)

他事業所 0件 (0事業所) 自事業所 4件

8 行事

4月	誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)	10月	誕生会・個別レク
5月	誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)	11月	誕生会・個別レク
6月	誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)	12月	誕生会・個別レク
7月	誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)	1月	誕生会・個別レク
8月	誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)	2月	誕生会・個別レク
9月	誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)	3月	常小ZOOM交流会 誕生会・個別レク

9 個別レクリエーション パターゴルフ・カラオケ(中止)・塗り絵・壁絵作り

10 まとめ

※通所介護のまとめ欄を参照